



徳島大学

環境防災研究センター年報

第15号

平成 31 年 3 月



徳島大学環境防災研究センター

Research Center for Management of Disaster and Environment

序文



毎年、その年に起こった災害を列挙しておりますが、その数の多さに驚くばかりです。平成30年度は例年以上に災害の多い年となり、当センターでも、災害調査に明け暮れた年となりました。

平成30年度の幕開けは4月に発生した島根県西部地震でした。その後も6月の大阪府北部地震、7月の平成30年7月豪雨と続きます。平成30年7月豪雨では広島県、岡山県、愛媛県などで合わせて270名を超える死者・行方不明者を出しています。当

センターも愛媛県、徳島県、高知県の調査に加えて、岡山県、広島県、京都府でも被害調査を行いました。8月下旬から9月上旬には台風20号と21号が相次いで徳島県南部に上陸し、その後、近畿地方を通過しました。どちらも強風を伴う台風で、本県を含む関西一円で強風災害、高潮災害が発生しました。また、台風21号は北海道を9月5日午前中に通過し、大雨をもたらしましたが、その直後の6日未明に北海道胆振東部地震が発生し、大規模な斜面崩壊、液状化被害が生じました。特に、震度7を記録した厚真町にある苫東厚真発電所が緊急停止し、その影響で道内全域の停電、いわゆるブラックアウトが発生したことは大きな教訓となっています。

本センターでは、いずれの災害にも調査員を派遣し、被災原因の究明、地域の復旧・復興過程の観察などを行っており、島根県西部地震、大阪府北部地震、平成30年7月豪雨について調査報告会やとくしま大学防災Café（4月から毎月1回開催）などを通して話題提供させていただいております。

私たちにとって深刻な被害をもたらす南海トラフ地震の発生確率は10年以内で30%程度、20年以内で50~60%程度（平成31年1月時点）と発表されています。南海トラフ地震の足音はすぐそばまで迫っています。また、全国各地で発生する活断層型地震や風水害を考えあわせれば、まさに本世紀は「災害の世紀」と言えるでしょう。こうした自然災害による被害をいかに軽減するか、当センターが果たすべき役割は年々増大していると感じております。

本センターの特徴は防災関連の研究に加えて、自然生態系を守るための研究と社会活動を大切にしているところにあります。今年度も昨年度に引き続き「生物多様性ととくしま会議」や「みなみから届ける環づくり会議」の運営・活動の支援、「スマホ

生きもの調査」などを住民や学外の研究者とともに進めています。

このたび、第15号の徳島大学環境防災研究センター年報を発刊し、私どもの研究と社会貢献に係る活動の一端を紹介させていただきます。この15年間、国、地方自治体、関連企業、ならびに本学から多大なご支援を得て、順調に事業・活動実績を積み重ねてまいることができました。

徳島大学では大学の活性化とレベルアップを図るため、学部や学内共同教育施設を問わず組織再編が行われております。当センターでも、平成29年4月1日に、防災研究部門、環境研究部門、災害医療部門、危機管理研究部門の4部門体制に再編され、これまで以上に活発に活動しております。現在は5名の専任教員（教授2名、准教授1名、講師1名、助教1名）に加えて、社会産業理工学研究部と医歯薬研究部所属の併任教員32名、客員教員9名の計46名で活動しております。

この場をお借りして、関係各位の皆様これまでいただきましたご支援とご協力に感謝申し上げますとともに、今後とも引き続き各方面からのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年3月

徳島大学環境防災研究センター
センター長 中野 晋

徳島大学環境防災研究センター 年報

第15号

目次

I 目的・組織	
1. はじめに	1
2. 目的	1
3. 組織と運営	2
II 平成30年度活動状況	
1. 運営委員会等関係	
1. 1 運営委員会	3
2. 主催・共催等事業	
2. 1 主催事業	8
2. 2 共催・協力事業	12
2. 3 その他	13
3. 調査	
3. 1 災害調査	14
3. 2 聞き取り調査	16
3. 3 その他	18
4. 社会貢献	
4. 1 外部委員等	20
4. 2 講師派遣	25
4. 3 支援・協働	36
4. 4 連携協定	39
4. 5 その他	39
4. 6 活動報告	39
5. 研究	
5. 1 学長裁量経費	44
5. 2 受託研究	44
5. 3 共同研究	46
5. 4 受託事業	47
5. 5 助成金	48
5. 6 寄付金	49
5. 7 その他	49
6. 研究業績	
6. 1 著書	50
6. 2 論文	51
6. 3 研究発表等	55
6. 4 受賞・表彰	63
6. 5 その他	63
III 徳島大学環境防災研究センター規則	65

I. 目的・組織

1. はじめに

徳島大学環境防災研究センターは、環境と防災に関わる諸問題を文理両面から総合的に研究するとともに、研究成果を活用した地域連携ならびに地域貢献事業を推進する学内共同教育研究施設として、全学的な協力・支援体制のもと平成16年4月1日に発足しました。

2. 目的

南海トラフ地震は南海トラフ沿いを震源域とするプレート境界型の巨大地震で、10年以内に発生する確率は20～30%程度、20年以内に発生する確率は50%程度とされています。徳島県では、この地震による津波災害、構造物被害、土砂災害等への対策や地震後の人的・物的被害に対する短期・長期的支援や復旧活動に関わる社会的、医療的問題等、早急に解決しなければならない課題が山積しています。

他方、前世紀後半における人間活動の急激な拡大や地球温暖化の進行が世界的な異常気象をもたらし、地球規模で見れば洪水・渇水災害、異常高・低温災害、強風・竜巻災害、斜面災害等が昨今、日常的に発生しています。さらには、大気・土壌・地下水汚染など化学物質に由来する環境災害も依然として深刻な状況にあります。

このように、災害危険度の増大や災害形態の変貌等、いわゆる負の遺産の蓄積が明白な中で、わが国では、安全・安心な社会を構築し、次世代に引き継ぐために、産・官・学一体となって防災対策ならびに危機管理体制の確立と充実に向けた機運が高まってきています。

一方、防災対策と自然環境の保全が往々にして対立の構図を描く点を見逃すわけにはまいりません。すなわち、防災対策などの人為作用が自然環境系とくに生態系に大きいダメージを与え、しばしば社会的な批判を浴びてきた点です。今後の防災対策では、その実効性の追求は勿論であります。自然を尊重し、環境との共生を図ることが重視されなければなりません。

以上のような防災と環境の問題を合理的に解決するためには、関連する学術分野が単独に個別課題の研究の高度化を図るだけでは不十分です。課題の本質からして、工学分野、理学分野、人文・社会科学分野、医・薬学分野など、広範な学術分野間の有機的な連携と協働が不可欠です。さらに、これらの研究成果を広く学会ならびに社会に発信するとともに、とくに地域性の強い課題については、その解明と解決に向けて具体的かつ積極的な支援を行ってゆく必要があります。

徳島大学環境防災研究センターでは、以上のような観点より、

- ①地域の防災・環境・危機管理に関連する研究の高度化、
- ②地域の防災・環境・危機管理に関連する学内分野の連携・協働体制の形成と支援、
- ③研究成果を活用した地域貢献・支援活動の推進、
- ④地域の防災・環境関連情報の集積・管理・発信とその有効利用法の開発、

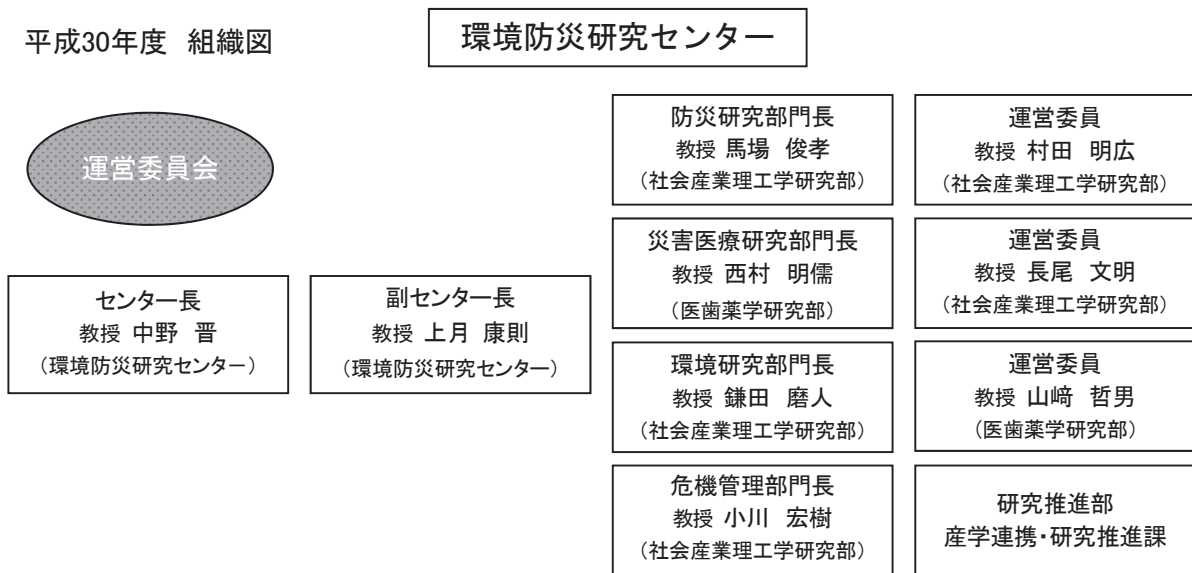
を推進する文理融合型の研究活動拠点となることを目的としています。

3. 組織と運営

センターにはセンター長、副センター長のもとに4部門（組織図参照）を置き、研究と地域連携事業を推進することとしています。平成19年度からは全学共通教育の中で徳島大学防災リーダー養成講座として科目提供を行っている他、平成25年度からは大学院先端技術科学教育部において、四国防災・危機管理プログラムを提供するなど、研究成果を教育に活かす活動も行っています。センターの運営全般に関わる事項については、正・副センター長と4名の部門長、さらにその他運営委員会が認めた者を加えて構成する運営委員会が所掌し、事務一般は、研究推進部産学連携・研究推進課が担当しています。全学から期限付きで招致された教員からなるプロジェクト推進チームで多くの研究・事業プロジェクトを精力的に進めています。

本センターの平成30年度の運営体制（平成31年3月1日時点）は次図のとおりです。

平成30年度 組織図



防災研究部門	三輪 昌史 准教授	環境研究部門	小串 重治 客員准教授	川崎 克寛
馬場 俊孝 教授	中田 成智 准教授	鎌田 磨人 教授	西田 貴明 客員准教授	徳島大学COCプラス推進本部
中野 晋 教授	青矢 睦月 准教授	上月 康則 教授	渡辺 雅子 客員准教授	・コーディネーター
村田 明広 教授	田口 太郎 准教授	浜野 龍夫 教授		宇野 宏司 客員准教授
長尾 文明 教授	内藤 直樹 准教授	河口 洋一 准教授	危機管理研究部門	板東 淳 客員准教授
武藤 裕則 教授	山中 亮一 講師	奥嶋 政嗣 准教授	小川 宏樹 教授	三上 卓 客員准教授
安間 了 教授		山城 考 准教授	中野 晋 教授	黒崎 ひろみ 客員准教授
矢部 拓也 教授	災害医療研究部門	飯山 直樹 特任准教授	上月 康則 教授	
山本 真由美 教授	西村 明儒 教授	山中 亮一 講師	山中 亮一 講師	技術スタッフ
蔣 景彩 准教授	佐藤 健二 教授	佐々木 千鶴 講師	光原 弘幸 講師	楠 則子 技術補佐員
西山 賢一 准教授	内海 千種 准教授	渡辺 公次郎 助教	畠 一樹 特任講師	平田 順子 技術補佐員
田村 隆雄 准教授	石上 安希子 講師	中西 敬 客員教授	湯浅 恭史 助教	尾野 美香 技術補佐員
上野 勝利 准教授		山本 裕史 客員教授	金井 純子 助教	朝波 史香 技術補佐員

II 平成30年度活動状況

1. 運営委員会等関係

1. 1 運営委員会

第1回運営委員会

- 1) 開催日 2018年4月2日(月) [環境防災研究センター]
- 2) 議題
 - (1) 共同研究の受入について
 - (2) 客員教員の選考について
 - (3) 部門スタッフの推薦について
 - (4) とくしま大学防災Caféの開催について
- 3) 報告事項
 - (1) 事業報告(平成30年3月)及び今後の予定について
 - (2) 受託研究の受入について
 - (3) 受託事業の受入について
 - (4) 平成30年度四国防災・危機管理プログラムスケジュールについて
 - (5) 第17回四国5大学連携防災・減災教育研究協議会について
 - (6) 四国4県・5大学連携 防災・減災シンポジウムについて
 - (7) 防災展の実施について

第2回運営委員会

- 1) 開催日 2018年4月6日(金) [電子メール会議]
- 2) 議題
 - (1) 「勝浦川流域フィールド講座」に係る共催名義の使用について

第3回運営委員会

- 1) 開催日 2018年5月7日(月) [環境防災研究センター]
- 2) 議題
 - (1) 部門スタッフの推薦について
 - (2) 客員教員の選考について
 - (3) クロスアポイントメントによる教員選考について
 - (4) 平成30年度予算について
 - (5) 共同研究の受入について
 - (6) センターホームページについて
- 3) 報告事項
 - (1) 事業報告(平成30年4月)及び今後の予定について
 - (2) 受託事業の受入について
 - (3) 受託研究の受入について
 - (4) 2018年島根県西部地震災害調査報告会について

- (5) 第2回とくしま大学防災 Café について

第4回運営委員会

- 1) 開催日 2018年6月11日(月) [環境防災研究センター]
- 2) 議題
 - (1) 「瀬戸内海研究フォーラム in 兵庫」の開催に係る共催について
 - (2) 共同研究の受入について
 - (3) 客員教員の選考について
 - (4) 三木康楽賞への推薦について
- 3) 報告事項
 - (1) 事業報告(平成30年5月)及び今後の予定について
 - (2) 受託研究の受入について
 - (3) 寄附金の受入について
 - (4) 四国4県防災危機管理担当課長と5大学連携防災・減災教育研究協議会委員との打合せ会(第6回)について
 - (5) 第3回とくしま大学防災 Café について
 - (6) ホームページ改修に関する進捗状況について

第5回運営委員会

- 1) 開催日 2018年6月25日(金) [電子メール会議]
- 2) 議題
 - (1) 後援名義の使用について

第6回運営委員会

- 1) 開催日 2018年7月2日(月) [環境防災研究センター]
- 2) 議題
 - (1) 共同研究の受入について
 - (2) ホームページ改修の進捗状況及び制作業者の見積もりについて
- 3) 報告事項
 - (1) 事業報告(平成30年6月)及び今後の予定について
 - (2) 受託研究の受入について
 - (3) 2018年大阪北部地震災害調査速報会について
 - (4) 第4回とくしま大学防災 Café について
 - (5) 徳島県地域防災推進員養成講座の実施概要について

第7回運営委員会

- 1) 開催日 2018年9月3日(月) [環境防災研究センター]
- 2) 議題
 - (1) 西日本豪雨災害調査報告会(9月12日)の開催について

(2) 「ホームページ作成の進捗報告とお願い」について

3) 報告事項

(1) 事業報告（平成 30 年 7～8 月）及び今後の予定について

(2) 一条工務店との共同研究について

(3) 徳島県地域防災推進員養成講座（短期及び長期講座）、徳島県職員防災研修会

(4) 四国防災・危機管理プログラムの後期日程について

(5) 第 5 回とくしま大学防災 Café について

(6) 平成 30 年度科学研究費助成事業について

第 8 回運営委員会

1) 開催日 2018 年 10 月 1 日（月）[環境防災研究センター]

2) 議題

(1) 地域継続シンポジウムについて

3) 報告事項

(1) 事業報告（平成 30 年 9 月）及び今後の予定について

(2) 平成 30 年度第 1 回四国防災共同教育センター企画委員会について

(3) 寄付金の受入について

(4) 受託事業の受入について

(5) 第 6 回とくしま大学防災 Café

(6) 10 月 1 日付け技術補佐員の採用について

第 9 回運営委員会

1) 開催日 2018 年 10 月 17 日（金）[電子メール会議]

2) 議題

(1) 共催名義の使用について

(2) 事業への参画について

第 10 回運営委員会

1) 開催日 2018 年 11 月 5 日（月）[環境防災研究センター]

2) 議題

無し

3) 報告事項

(1) 事業報告（平成 30 年 10 月）及び今後の予定について

(2) 徳島県科学技術大賞の受賞について

(3) 第 7 回とくしま大学防災 Café について

第 11 回運営委員会

1) 開催日 2018 年 12 月 3 日（月）[環境防災研究センター]

2) 議題

- (1) 共同研究の受入について
- (2) インセンティブ経費の活用方法について
- (3) 環境防災研究センター15周年記念事業について
- (4) 平成31年度とくしま大学防災Caféの実施（協力依頼）について
- (5) 環境防災研究センター新ホームページの開設について

3) 報告事項

- (1) 事業報告（平成30年11月）及び今後の予定について
- (2) 徳島県科学技術大賞の受賞について
- (3) 第8回とくしま大学防災Caféについて

第12回運営委員会

- 1) 開催日 2018年1月7日（月）[環境防災研究センター]

2) 議題

- (1) 設立15周年記念シンポジウムについて

3) 報告事項

- (1) 事業報告（平成30年12月）及び今後の予定について
- (2) 第9回とくしま大学防災Café
- (3) センターのホームページの運営状況について

第13回運営委員会

- 1) 開催日 2019年1月17日（木）[電子メール会議]

2) 議題

- (1) 共同研究の受入について

第14回運営委員会

- 1) 開催日 2019年1月22日（火）[電子メール会議]

2) 議題

- (1) 後援名義の使用について

第15回運営委員会

- 1) 開催日 2019年2月4日（月）[環境防災研究センター]

2) 議題

無し

3) 報告事項

- (1) 事業報告（平成31年1月）及び今後の予定について
- (2) 第10回とくしま大学防災Café
- (3) 共同研究について
- (4) 南海トラフ地震地域「防災・減災」シンポジウム2019について

第16回運営委員会

- 1) 開催日 2019年2月18日(月) [電子メール会議]
- 2) 議題
 - (1) 後援名義の使用について
 - (2) 平成30年度インセンティブ経費の使用について

第17回運営委員会

- 1) 開催日 2019年2月25日(月) [電子メール会議]
- 2) 議題
 - (1) 共催名義の使用について

第18回運営委員会

- 1) 開催日 2019年3月4日(月) [環境防災研究センター]
- 2) 議題
 - (1) 客員教員の選考について
 - (2) クロスアポイントメント制による教員採用について
 - (3) 専門研究員受入について
- 3) 報告事項
 - (1) 事業報告(平成31年2月)及び今後の予定について
 - (2) 第11回とくしま大学防災Café
 - (3) 第2回 四国防災共同教育センター企画委員会
 - (4) 平成30年度 四国防災共同教育センター運営評価委員会
 - (5) インセンティブ経費の配分について

第19回運営委員会

- 1) 開催日 2019年3月26日(火) [電子メール会議]
- 2) 議題
 - (1) 平成31年度環境防災研究センター運営委員会委員について
 - (2) 平成31年度環境防災研究センター部門スタッフについて

2. 主催・共催等事業

2. 1 主催事業（事業名，日時，場所，内容，参加人数 など）

1) 平成 30 年度徳島県地域防災推進員養成講座（長期講座）

日 時：2018 年 4 月 11 日～8 月 1 日

場 所：徳島大学教養教育 5 号館 302・303 教室

受講生：31 名，修了生 30 名

2) とくしま大学防災 café

主 催：徳島大学環境防災研究センター

場 所：徳島大学工業会館

- ・第 1 回 中野 晋「集中豪雨時の住民避難～九州北部豪雨の事例から～」
山中 亮一「沿岸域での複合災害による被害予測と対策について」
日 時：2018 年 4 月 26 日（木）18：00～20：00
参加者：70 名
- ・第 2 回 湯浅 恭史「地域の産官学が連携した防災活動～鳴門市里浦・川東地区での取り組み～」
村田 明宏「新潟県中越沖地震と柏崎周辺の地質構造に関する考察」
日 時：2018 年 5 月 24 日（木）18：00～20：00
参加者：72 名
- ・第 3 回 光原 弘幸「ICT を活用した防災教育について」
金井 純子「小学校での防災教育」
日 時：2018 年 6 月 28 日（木）18：00～20：00
参加者：85 名
- ・第 4 回 坂東 淳「スフィアプロジェクト」
佐藤 健二「被災者心理の理解とケア」
日 時：2018 年 7 月 26 日（木）18：00～20：00
参加者：50 名
- ・第 5 回 長尾 文明「徳島における強風災害」
馬場 俊孝「徳島沖海底地すべり津波」
日 時：2018 年 8 月 22 日（木）18：00～20：00
参加者：45 名
- ・第 6 回 中田 成智「地震観測に基づく広域被害予測技術の現状と展望」
山本 真由美「震災時の弱者支援について」
日 時：2018 年 9 月 27 日（木）18：00～20：00
参加者：60 名
- ・第 7 回 内藤 直樹「鳥獣害対策について」
西山 賢一「土砂災害の発生頻度を推定する」
日 時：2018 年 10 月 25 日（木）18：00～20：00
参加者：41 名
- ・第 8 回 田村 隆雄「地震・津波避難支援マップの作成と整備状況について」
上月 康則「自分たちでできるブロック塀の安全点検と対策について」

日 時：2018年11月22日（木）18：00～20：00

参加者：50名

- ・第9回 宇野 宏司「大阪湾圏内の津波被災リスク評価」
内海 千種「災害時におこる心と身体の変化について」

日 時：2018年12月20日（木）18：00～20：00

参加者：44名

- ・第10回 武藤 裕則「気候変動下での洪水災害対策に関する話題提供」
上野 勝利「沿岸構造物の防災工法」

日 時：2019年1月24日（木）18：00～20：00

参加者：42名

- ・第11回 蔣 影彩「南海トラフ地震による広域地盤沈下等」
三上 卓「聞き取り調査から得た、南海トラフ地震での徳島県における津波避難への心得」

日 時：2019年2月28日（木）18：00～20：00

参加者：52名

- ・第12回 小川 宏樹「木造住宅の耐震化について」
黒崎 ひろみ「原子力施設のリスクマネジメント」

日 時：2019年3月14日（木）18：00～20：00

参加者：45名

3) 2018年島根県西部地震災害調査報告会

日 時：2018年5月2日 13：30～15：00

場 所：徳島大学共通講義棟 K507 教室

参加者：35名

内 容：2018年4月9日に発生した島根県西部地震の調査報告

講 演：中田 成智「地震動の特性と墓石等の被害」

小川 宏樹「家屋被害の特徴」

中野 晋・蔣 景彩「インフラ被害と地盤災害」

4) 徳島県企業防災推進委員会 BCP研究部会

座 長：徳島大学環境防災研究センター 中野 晋

講 師：徳島大学環境防災研究センター 湯浅 恭史

主 催：徳島大学環境防災研究センター，徳島県商工観光労働部商工政策課

場 所：徳島大学工業会館

- ・第1回「企業取組事例 女性目線を活用したBC連携」
「企業取組事例 GISによる「見える化」を活かした建設会社のBCP改革」

日 時：2018年5月24日（木）14：00～16：00

参加企業数等：14事業者，33名

- ・第2回「南海トラフ地震に関する臨時情報発表時の対応」

日 時：2018年7月26日（木）14：00～16：00

参加企業数等：23事業者，45名

- ・第3回「レジリエンス認証への取り組みと西日本豪雨への対応」
「アンケート調査結果報告と最新のBC動向」
日 時：2018年9月20日（木）14：00～16：00
参加企業数等：11事業者，26名
- ・第4回「事例発表 ハード整備から演習へ 輸液を止めない事業継続への挑戦」
「災害対応マネジメントを高めるケーススタディ」
日 時：2018年11月22日（木）14：00～16：00
参加企業数等：9事業者，25名
- ・第5回「BCPの効果的な見直し・改善をするために」
日 時：2019年1月17日（木）14：00～16：00
参加企業数等：9事業者，18名
- ・第6回「実効性のあるBCPを実現するための地域内での連携」
日 時：2019年3月14日（木）14：00～16：00
参加企業数等：10事業者，12名

5) 2018年大阪北部地震災害調査報告会

日 時：2018年6月27日 18：30～20：15
場 所：徳島大学共通講義棟 K501 教室
参加者：73名
内 容：2018年6月18日に発生した大阪北部地震の調査報告
講 演：中野 晋「調査概要と地震動の特徴」
上月 康則「ブロック塀や石積み塀の被害」
金井 純子「ブロック塀の転倒についての簡易模型実験」
上野 勝利「茨木市内の家屋や寺社の被害」
西山 賢一・蔣 景彩「有馬－高槻断層帯沿いの特徴的な被害」

6) 平成30年度徳島県地域防災推進員養成講座（短期講座）

日 時：2018年7月8・14・15・22・28日
場 所：徳島会場（徳島大学共通講義棟 K407 教室・創成学習スタジオ）
南部会場（徳島県南部総合県民局）
西部会場（徳島県西部総合県民局）
受講生：107名（徳島83名，西部15名，南部9名），防災士合格者104名

7) 自治体BCP研修会

（県南地域）2018年7月20日 14：00～16：00，阿南市役所，参加者10名
（県北地域）2018年7月26日 14：00～16：00，鳴門市消防庁舎，参加者10名
（県央地域）2018年7月27日 14：00～16：00，徳島県庁，参加者10名
（県西地域）2018年9月11日 13：30～16：00，徳島県立西部防災館，参加者9名
講 師：徳島大学環境防災研究センター 中野 晋，同 湯浅 恭史
主 催：徳島大学環境防災研究センター，徳島県危機管理部危機管理政策課

内 容：自治体 BCP の見直し，受援体制の構築，連携体制の検討等

8) 平成 30 年度徳島県地域防災推進員養成講座（県職員等講習会）

日 時：2018 年 8 月 1・2・3・8・9 日

場 所：徳島県自治研修センター

受講生：140 名，防災士合格者 136 名

9) 西日本豪雨災害調査報告会

日 時：2018 年 9 月 12 日 13：00～16：00

場 所：徳島大学工業会館

参加者：50 名

内 容：平成 30 年 7 月に発生した西日本豪雨の災害調査報告

講 演：田村 隆雄「降雨概況と今回の大雨に対するダムの洪水調節能力」

武藤 裕則「河川の氾濫災害について」

中野 晋「大洲市と倉敷市真備町の浸水被害について」

西山 賢一「徳島県三好市および高知県大豊町で発生した土砂災害」

蔣 景彩「広島県と岡山県のため池の被害について」

湯浅 恭史「岡山県内の事業所と医療機関の被害」

上月 康則「平成 30 年 7 月豪雨での上水道被害について」

10) 地域継続シンポジウム「～いま徳島に必要なことは何かを考える～」

日 時：2018 年 11 月 5 日 13：30～16：30

場 所：徳島県教育会館

主 催：徳島県，徳島大学環境防災研究センター

参加者：76 名

講 演：新井 信夫（名古屋大学減災連携センター 特任教授）

「愛知県での地域継続・地域連携の取り組み」

報 告：長尾 文明（徳島大学環境防災研究センター 教授）

「近年の強風被害」

11) 全国運河サミット in 尼崎 2018

日 時：2018 年 11 月 16・17 日

場 所：尼崎リサーチ・インキュベーションセンター

主 催：兵庫県阪神県民センター，尼崎市，尼崎市教育委員会，尼崎運河〇〇クラブ，兵庫県立尼崎小田高等学校，尼崎商工会議所，尼崎南部再生研究室，NPO 法人尼崎 21 世紀の森，(株)神戸新聞社，徳島大学環境防災研究センター，阪神電気鉄道(株)

参加者：約 200 名

講 演：岩本 唯史（建築家・ミズベリング ディレクター）

「運河の利活用」

2. 2 共催・協力事業（事業名、主催機関、日時、場所、内容、参加数 など）

1) 第5回勝浦川流域フィールド講座

日 時：2018年4月28日，エコみらいとくしま，講師：鎌田 磨人，20人
2018年5月13日，上勝町高丸山および千年の森ふれあい館，講師：飯山 直樹，20人
2018年5月26日，上勝町檜原棚田周辺および檜原地区お休み処，講師：小串 重治，18人
2018年6月10日，勝浦川中流（藤川谷川）および高銓公民館，講師：河口 洋一，16人
2018年7月1日，勝浦町坂本地区およびふれあいの里さかもと，17人
2018年7月22日，勝浦川下流（田浦地区）および田浦地区コミュニティ集会所，16人
2018年9月24日，勝浦川河口干潟および徳島市立青少年交流プラザ，17人
2018年10月14日，エコみらいとくしま，20人，「生物多様性リーダー」認定，9名
主 催：徳島県，とくしま生物多様性センター，NPO 徳島保全生物学研究会，生物多様性とくしま会議
共 催：徳島大学環境防災研究センター
受講生：14名
内 容：8回の連続講座として講義および現場実習を行い「生物多様性リーダー」を養成した（徳島県知事認定）

2) 第26回瀬戸内海研究フォーラム in 兵庫

「測る，創る，学ぶ，瀬戸内海の今」
日 時：2018年8月30・31日
場 所：神戸大学百年記念館六甲ホール
主 催：特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議，神戸大学内海域環境教育研究センター
共 催：瀬戸内海環境保全知事・市長会議，徳島大学環境防災研究センター
参加者：160名
内 容：瀬戸内海の水環境の現況と変遷を多面的に据えることを目指して，多様な観点や手法によって行われている水質，生物相の調査・モニタリングと環境再生，環境創出プログラムについて紹介

3) BCPトップセミナーin 徳島

日 時：2018年11月12日14：00～16：10
場 所：ホテルサンシャイン徳島
主 催：徳島県，徳島県中小企業団体中央会，とくしまBCP支援センター
共 催：徳島大学環境防災研究センター
参加者：87名
内 容：徳島県企業BCP認定制度認定証交付式，認定企業プレゼンテーション，BCP講演等

4) 第2回とくしま生物多様性活動推進フォーラム

「“かいもの”と“いきもの”のふか〜いつながり」
日 時：2019年3月3日13：30～17：00
場 所：徳島グランヴィリオホテル

主 催：とくしま生物多様性活動推進協議会，NPO 法人徳島保全生物学研究会

共 催：とくしま生物多様性センター，生物多様性とくしま会議，徳島大学環境防災研究センター

参加者：100 名

内 容：エシカル消費や SDGs につながる、生物多様性に配慮した農産物の講演等

5) 防災・危機管理 人材養成シンポジウム

日 時：2019 年 3 月 8 日 13：15～16：50

場 所：香川大学創造工学部 林町キャンパス講義棟 3301 講義室

主 催：四国防災共同教育センター

共 催：香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構，徳島大学環境防災研究センター

参加者：150 名

特別講演：「南海トラフ巨大地震等大規模災害に備えて～静岡県地震・津波対策～」

講 師：静岡県 危機管理部 理事（防災対策担当）石垣 俊幸

2. 3 その他

1) 「グリーンインフラ（緑のインフラ）」

鎌田 磨人，「気候変動・人口減少社会におけるグリーンインフラ」に関する研究会・懇談会及び環境省環境研究総合推進費「グリーンインフラと既存インフラの相補的役割－防災・環境・社会経済面からの評価」アドバイザーボード会議，2018 年 12 月 8・9 日，海陽町まぜのおか，研究者・町長・行政・町民等 45 名【新聞報道有り】

3. 調査

3. 1 災害調査（内容，場所，日時，担当者）

<防災研究部門>

- (1) 鳴門海岸侵食状況調査，鳴門市，2018年4月4日，武藤 裕則，山中 亮一
- (2) 島根県西部地震災害調査，島根県大田市ほか，2018年4月13～15日，中野 晋，蔣 景彩，中田 成智
- (3) 2017年九州北部豪雨調査&中津市耶馬溪町土砂崩れ調査，大分県，2018年4月20～22日，中野 晋，蔣 景彩，学生3名（鈴江，田中，妹尾）
- (4) 2016年熊本地震調査，南阿蘇村・高野台地すべりの現地調査・試料採取を実施した。2018年6月2～4日，西山 賢一
- (5) 2011年台風12号災害調査，奈良県五條市にある国土交通省ボーリングコア置き場において，奈良県十津川村の深層崩壊地で掘削されたボーリングコアの観察・測定を行った。2018年6月14・15日，西山 賢一
- (6) 2018年大阪北部地震災害調査（第1回），2018年6月19日，中野 晋，上月 康則，上野 勝利，金井 純子
- (7) 2018年大阪北部地震災害調査（第2回），2018年6月23日，中野 晋，蔣 景彩，西山 賢一，金井 純子
- (8) 平成30年7月豪雨災害調査，徳島県三好市，2018年7月13日，武藤 裕則，蔣 景彩，西山 賢一，田村 隆雄
- (9) 平成30年7月豪雨災害調査，高知県大豊町，2018年8月3日，西山 賢一
- (10) 平成30年7月豪雨災害調査，2018年8月5・6日，大洲市，中野 晋
- (11) 台風20号による淡路島風力発電風車の倒壊，2018年8月24日15：30～17：30，長尾 文明
- (12) 宍喰沖海底地形調査，2018年8月28～31日，馬場 俊孝
- (13) 台風21号強風被害調査，阿南市橘町（太陽光発電パネル，屋根），勝浦中学校体育館屋根等，2018年9月5日，長尾 文明
- (14) 2018年台風第21号高潮調査，2018年9月5日，鳴門市，中野 晋，梅岡 秀博，学生1名
- (15) 台風21号強風被害調査，美馬市脇町（倒木），吉野川市山川町（太陽光パネル），板野町（壁）等，2018年9月6日，長尾 文明
- (16) 台風21号強風被害調査，鳴門市ボートレース鳴門，2018年9月6日・10日，長尾 文明
- (17) 平成30年7月豪雨によるため池被害調査，広島・岡山，2018年9月7日，蔣 景彩
- (18) 平成30年北海道胆振東部地震災害調査，札幌市・安平町・厚真町，2018年9月8日，西山 賢一
- (19) 台風21号強風被害調査，美波町伊座利，阿南市（椿町中学校，見能林小学校，見能林幼稚園），2018年9月12日，長尾 文明
- (20) 平成30年7月豪雨災害調査，愛媛宇和島市・西予市，2018年9月21～24日，西山 賢一
- (21) 平成30年7月豪雨調査，大洲市，西予市，宇和島市，2018年10月11・12日，中野 晋
- (22) 平成30年7月豪雨による福山市勝負迫池現地調査，福山市，2018年10月12日，蔣 景彩
- (23) 日和佐地区台風21号強風被害調査，美波町伊座利地区，2018年10月13日，長尾 文明
- (24) 台風21号強風被害調査，徳島県海陽町那佐等，2018年10月19日，長尾 文明
- (25) 2018年台風20・21号高潮調査，鳴門市，2018年10月19日，中野 晋
- (26) 北海道胆振東部地震調査，むかわ町，2018年10月19日，西山 賢一

- (27) 平成 30 年 9 月北海道胆振東部地震液状化被害調査, 札幌市, 2018 年 10 月 19 日, 蔣 景彩
- (28) 台風 21 号強風被害調査, 美馬市美馬町天神等, 2018 年 10 月 21 日, 長尾 文明
- (29) 平成 30 年 7 月豪雨による福山市勝負迫池現地調査 (コーン貫入試験など), 福山市, 2018 年 10 月 29 日, 蔣 景彩, 学生 1 名
- (30) 静岡県津波防災対策の現状調査, 静岡県, 伊豆市, 2018 年 11 月 1~3 日, 中野 晋, 学生 1 名
- (31) 平成 30 年 7 月豪雨災害調査, 愛媛宇和島市・西予市, 2018 年 11 月 1~3 日, 西山 賢一
- (32) 平成 30 年 7 月豪雨調査, 保育所の災害対応, 宇和島市, 2018 年 11 月 8・9 日, 中野 晋, 学生 1 名
- (33) 平成 30 年 7 月豪雨災害調査, 愛媛宇和島市・西予市, 2018 年 11 月 10 日, 西山 賢一
- (34) 昭和南海地震・2011 年台風 12 号災害調査, 和歌山県田辺市・那智勝浦町, 2018 年 11 月 14~17 日, 西山 賢一
- (35) 平成 30 年 7 月豪雨調査, 保育所の災害対応, 倉敷市, 2018 年 11 月 15 日, 中野 晋, 金井 純子, 学生 1 名
- (36) 平成 30 年 7 月豪雨調査, 消防団の災害対応, 宇和島市, 2018 年 11 月 24・25 日, 中野 晋
- (37) 平成 30 年 7 月豪雨調査, 広島県福山市, 2018 年 12 月 5 日, 蔣 景彩, 中野 晋
- (38) 平成 30 年 7 月豪雨災害調査, 徳島県三好市, 2018 年 12 月 12 日, 西山 賢一
- (39) 2016 年熊本地震関連調査, 熊本市・益城町・大津町, 2018 年 12 月 25~27 日, 西山 賢一
- (40) 平成 30 年 7 月豪雨調査, 広島市, 坂町, 呉市, 熊野町, 2019 年 1 月 11~13 日, 中野 晋, 蔣 景彩
- (41) 平成 30 年 7 月豪雨調査, 坂町, 三原市, 2019 年 1 月 27 日, 中野 晋
- (42) 和歌山市有功地区防災まち歩き案内・防災炊き出し, 和歌山市, 2019 年 2 月 16 日, 西山 賢一
- (43) 2011 年台風 12 号災害調査, 和歌山県那智勝浦町・新宮市, 2019 年 2 月 22~24 日, 西山 賢一

<環境研究部門>

- (1) 高砂・この浦舟池での里海づくりに関する調査, 高砂市, 2018 年 4 月 1 日~2019 年 3 月 31 日, 計 3 回, 上月 康則 ほか
- (2) ルイスハンミョウの生息代替地に関する調査, 徳島市, 2018 年 4 月 1 日~2019 年 3 月 31 日, 計 10 回, 上月 康則, 渡辺 雅子 ほか
- (3) アサリ養殖場としての干潟再生に関する調査, 長洲町, 2018 年 7 月 1 日~2019 年 3 月 31 日, 計 4 回, 上月 康則, 山中 亮一 ほか
- (4) 尼崎運河での稚仔魚育成場の創出に関する調査, 尼崎市, 2018 年 8 月 29 日~31 日, 上月 康則, 山中 亮一 ほか
- (5) 尼崎運河における水質・生態系調査, 山中 亮一 ほか
実施日: 2018 年 4 月 15 日, 5 月 20 日, 5 月 24 日, 6 月 17 日, 7 月 15 日, 8 月 19 日, 8 月 30 日, 9 月 16 日, 10 月 21 日, 10 月 18 日, 11 月 16 日, 11 月 26 日, 12 月 16 日, 2019 年 1 月 20 日, 2 月 17 日, 3 月 7 日, 3 月 17 日

<危機管理研究部門>

- (1) 島根県西部地震災害調査, 島根県大田市ほか, 2018 年 4 月 13~15 日, 中野 晋, 小川 宏樹, 蔣 景彩, 中田 成智
- (2) 東日本大震災復興状況調査, 福島県新地町役場など, 2018 年 5 月 11 日, 中野 晋

- (3) 常総水害ヒアリング調査, きぬ医師会病院・水海道さくら病院 (茨城県常総市), 2018年6月1日, 湯浅 恭史
- (4) 2018年大阪北部地震災害調査 (第1回), 高槻市, 東淀川区, 2018年6月19日, 中野 晋, 上月 康則, 金井 純子
- (5) 医療機関の災害意識調査, 春藤内科胃腸科 (板野郡松茂町), 2018年6月21日, 湯浅 恭史
- (6) 2018年大阪北部地震災害調査 (第2回), 2018年6月23日, 中野 晋, 金井 純子
- (7) 医療機関の災害意識調査, 小松島金磯病院 (小松島市), 2018年6月26日, 湯浅 恭史
- (8) 医療機関の災害意識調査, 半田病院 (美馬郡つるぎ町), 2018年6月28日, 湯浅 恭史
- (9) 平成30年7月豪雨災害調査, 7月16日, 愛媛県大洲市, 中野 晋, 上月 康則, 武藤 裕則, 田村 隆雄, 金井 純子, (徳永・徳島県, 鈴江・徳島県, 学生1名)
- (10) 平成30年7月豪雨災害調査, 7月18日, 福知山市, 中野 晋, 学生2名
- (11) 平成30年7月豪雨災害被災地調査, 西予市, 2018年7月20・21日, 上月 康則 ほか
- (12) 平成30年7月豪雨災害調査, 7月21日, 倉敷市真備町, 中野 晋, 金井 純子, 宇野 宏司, 学生3名, 建設環境研究所3名
- (13) 洪水被害調査 (痕跡高計測@岡山県真備町), 2018年7月21日, 中野 晋, 金井 純子, 宇野 宏司
- (14) 平成30年7月豪雨, 岡山県真備町, 2018年7月21日, 金井 純子
- (15) 平成30年7月豪雨調査, 岡山県倉敷市ほか, 2018年8月3日, 湯浅 恭史
- (16) 2018年台風第20号高潮調査, 2018年8月24日, 鳴門市, 中野 晋, 金井 純子
- (17) 高潮被害調査 (痕跡高計測), 阪神地区沿岸, 2018年9月6日, 宇野 宏司
- (18) 高潮被害調査 (痕跡高計測), 神戸西地区沿岸, 2018年9月9日, 宇野 宏司
- (19) 高潮被害調査 (痕跡高計測), 淡路島沿岸, 2018年9月11日, 宇野 宏司
- (20) 高潮被害調査 (痕跡高計測), 神戸西地区沿岸, 2018年9月13日, 宇野 宏司
- (21) 高潮被害調査 (痕跡高計測), 淡路島沿岸, 2018年9月16日, 中野 晋, 金井 純子, 宇野 宏司
- (22) 台風21号, 兵庫県淡路島, 2018年9月16日, 金井 純子
- (23) 平成30年7月豪雨災害調査, 倉敷市真備町, 2018年9月19日, 中野 晋, 金井 純子, 学生1名
- (24) 2018年台風24号高潮調査準備 (潮位計設置), 鳴門市, 2018年9月28日, 中野 晋
- (25) 2018年台風24号高潮調査, 鳴門市, 2018年10月1日, 中野 晋
- (26) 福島県新地町津波痕跡調査, 福島県新地町, 2018年10月7・8日, 中野 晋, 金井 純子, 宇野 宏司
- (27) 平成30年7月豪雨調査, 岡山県倉敷市他, 2018年10月18日, 湯浅 恭史
- (28) 高知県の防災学習資源調査, 高知市, 土佐清水市など, 2018年10月21・22日, 上月 康則
- (29) 仙台貞観運河の復興視察, 貞観運河, 2018年10月26・27日, 上月 康則
- (30) 津田松原団地のブロック塀引き倒し実験, 徳島市, 2018年11月22日, 上月 康則
- (31) 平成30年7月豪雨調査, 愛媛県大洲市, 2019年1月22日, 湯浅 恭史

3. 2 聞き取り調査 (内容, 場所, 日時, 担当者)

<防災研究部門>

- (1) 和歌山県事前復興対策状況調査(土木学会), 2018年9月4・5日, 山中 亮一
- (2) 阿南市防災公園利用状況調査(土木学会), 2018年9月27日, 山中 亮一, 尾野 薫

- (3) 平成 30 年 7 月豪雨調査, 宇和島市, 西予市, 2018 年 12 月 8・9 日, 中野 晋, 蔣 景彩
- (4) 平成 30 年 7 月豪雨調査, 保育所・学校の災害対応, 広島市, 2019 年 1 月 25・26 日, 中野 晋

<危機管理研究部門>

- (1) 東日本大震災でのブロック塀被害に関する調査, 福島県新地町, 2018 年 5 月 12 日, 上月 康則
- (2) 小松島和田島町ブロック塀調査, 小松島ニュータウン, 2018 年 6 月 1 日, 上月 康則, 小川 宏樹
- (3) 牟岐町出羽島重要伝統的建造物群保存地区特定物件調査(間取実測調査および耐震診断), 牟岐町, 2018 年 8 月 30・31 日, 小川 宏樹, 学生
- (4) 台風 21 号, 兵庫県淡路島, 2018 年 9 月 16 日, 金井純子
- (5) 平成 30 年 7 月豪雨, 岡山県真備町, 2018 年 9 月 19 日, 金井純子
- (6) 平成 28 年台風 16 号における高齢者施設における避難行動, 宮崎県延岡市, 2018 年 10 月 27 日, 金井 純子
- (7) 静岡県津波防災対策の現状調査, 静岡県伊豆市, 2018 年 11 月 1~3 日, 中野 晋, 学生 1 名
- (8) 平成 30 年 7 月豪雨調査, 保育所の災害対応, 宇和島市, 2018 年 11 月 8・9 日, 中野 晋, 学生 1 名
- (9) 平成 30 年 7 月豪雨調査, 保育所の災害対応, 倉敷市, 2018 年 11 月 15 日, 中野 晋, 金井 純子, 学生 1 名
- (10) 応急仮設住宅用地ヒアリング調査, 美波町役場, 2018 年 11 月 20 日, 湯浅 恭史
- (11) 平成 30 年 7 月豪雨調査, 消防団の災害対応, 宇和島市, 2018 年 11 月 24・25 日, 中野 晋
- (12) 牟岐町出羽島重要伝統的建造物群保存地区猫車調査, 牟岐町, 2018 年 11 月 24・25 日, 小川 宏樹, 学生
- (13) 応急仮設住宅用地ヒアリング調査, 海陽町役場・阿南市役所, 2018 年 11 月 28 日, 湯浅 恭史
- (14) 応急仮設住宅用地ヒアリング調査, 小松島市役所, 2018 年 12 月 7 日, 湯浅 恭史
- (15) 平成 30 年 7 月豪雨調査, 宇和島市・西予市, 2018 年 12 月 8・9 日, 中野 晋, 蔣 景彩
- (16) 応急仮設住宅用地ヒアリング調査, 鳴門市役所, 2018 年 12 月 12 日, 湯浅 恭史
- (17) 応急仮設住宅用地ヒアリング調査, 松茂町役場・北島町役場, 2018 年 12 月 14 日, 湯浅 恭史
- (18) 平成 30 年 7 月豪雨における高齢者施設における避難行動, 愛媛県大洲市・西予市, 2018 年 12 月 14 日, 金井 純子
- (19) 臨時情報に対する高齢者施設の避難計画, 徳島県小松島市, 2018 年 12 月 21 日, 金井 純子
- (20) 臨時情報に対する高齢者施設の避難計画, 高知県東洋町, 2019 年 1 月 25 日, 金井 純子
- (21) 平成 30 年 7 月豪雨調査, 社会福祉施設(高齢者, 保育所)の災害対応, 倉敷市真備町, 2019 年 2 月 20 日, 中野 晋, 金井 純子
- (22) 平成 30 年 7 月豪雨調査, 保育所, 住民の災害対応, 西予市, 宇和島市, 2019 年 2 月 23~25 日, 中野 晋
- (23) 平成 30 年 7 月豪雨における高齢者施設における避難行動, 岡山県倉敷市真備町, 2019 年 2 月 25 日, 金井 純子
- (24) 平成 30 年 7 月豪雨における高齢者施設における避難行動, 広島県三原市, 2019 年 3 月 4 日, 金井純子
- (25) 東日本大震災被災地の復興状況の視察, 福島県新地町~宮城県気仙沼市, 2019 年 3 月 15~18 日, 金井 純子

3. 3 その他

<防災研究部門>

- (1) 大英博物館収蔵資料調査, 2018年4月28日~5月6日, 安間 了
- (2) 南海トラフ海底地形調査 (JAMSTEC 調査船), 2018年4月29~5月2日, 蔣 景彩, 権 容大
- (3) 大英博物館・アシュモリアン博物館・バーミンガム博物館収蔵資料調査, 2018年8月20~26日, 安間 了
- (4) イラク国クルド人自治区スレイマニヤ県の考古学調査, 2018年8月29日~9月20日, 安間 了
- (5) 似島ドローン撮影, 広島市, 2018年10月5日, 三輪 昌史
- (6) 海陽町全町避難訓練, 道路閉塞ありの避難訓練にて住民および学生(観光客)の避難経路をGPSロガーにて記録した, 2018年12月16日, 馬場 俊孝
- (7) 海洋開発研究機構調査船「みらい」MR18-06 Leg 2航海, チリ沖三重点の地質学的・地球物理学的調査, チリ沖三重点, 2019年1月12日~28日, 岩森 光, 木下 正高, 安間 了 ほか
- (8) 水害に関する各種情報の活用に関するアンケート調査, 対象: 徳島市在住者, 2019年1月16日~, 武藤 裕則
- (9) 海底地形調査 (神戸大深江丸), 2019年3月15~22日, 馬場 俊孝

<環境研究部門>

- (1) クローン増殖によるサンゴの増殖実験, 折れたサンゴの枝を再活着させ増殖させるための実験調査, 沖縄県座間味村阿嘉島, 2018年5月, 9月, 11月, 2019年2月, 中西 敬
- (2) 酒田港大浜海岸における生物多様性創出実験モニタリング調査, 海岸地形並びに海藻等生物相のモニタリング調査, 山形県酒田市, 2018年5月, 9月, 3月【9月調査の状況(大学名含む)が庄内日報にて記事掲載】, 中西 敬
- (3) 長洲干潟環境保全再生実験, あさり漁場としての干潟の環境保全再生(浚渫土砂の改良と利用による干潟の環境制御), 熊本県長洲町, 2018年6月, 8月, 10月, 11月, 12月, 2019年2月【昨年3月の報告会の状況が有明新報にて記事掲載, 有明新報社説にて取り上げられた(大学名含む)】, 中西 敬
- (4) 人工構造物におけるサンゴの生育状況調査, 人工リーフにおけるサンゴの分布状況を把握評価しサンゴの着生・生育に適した環境創出技術を抽出するための調査, 沖縄県本部町, 2018年9月, 中西 敬

<危機管理研究部門>

- (1) 沿岸部砂浜の環境・防災機能に関する調査

和歌山県田辺市, 2018年4月12日, 和歌山県新宮市, 4月19日, 高知県高知市, 4月26日, 和歌山県湯浅町, 5月10日, 徳島県海陽町, 6月2日, 和歌山県那智勝浦町, 6月14日, 高知県須崎市, 6月21日, 三重県尾鷲市, 6月28日, 兵庫県淡路島沿岸, 7月9日, 高知県四万十市, 7月12日, 兵庫県淡路島沿岸, 7月14日, 和歌山県和歌山市, 7月19日, 和歌山県串本町, 7月26日, 和歌山県御坊市, 8月9日, 三重県熊野市, 8月15日, 高知県幡多地方, 8月23~25日, 高知県高知市, 9月13日, 高知県須崎市, 10月18日, 和歌山県那智勝浦町, 10月25日, 徳島県阿南市, 11月3日, 和歌山県新宮市, 11月7~8日, 和歌山県白浜町, 11月22日, 和歌山県みなべ町, 11

月 29 日, 高知県中土佐町, 12 月 4 日, 和歌山県串本町, 12 月 13 日, 和歌山県串本町, 12 月 27 日, 和歌山県新宮市, 2019 年 1 月 10 日, 和歌山県田辺市, 1 月 31 日, 徳島県海陽町, 2 月 5 日, 高知県須崎市, 2 月 15 日, 和歌山県すさみ町, 2 月 18 日, 和歌山県すさみ町, 2 月 26 日, 徳島県徳島市, 3 月 5 日, 高知県宿毛市, 3 月 9~10 日, 徳島県徳島市, 3 月 12 日, 和歌山県那智勝浦町, 3 月 14 日, 宇野 宏司

(2) 公的療養機関の防災機能に関する調査

岡山県瀬戸内市, 2018 年 5 月 12 日, 東京都東村山市ほか, 6 月 7・8 日, 東京都東村山市, 9 月 17 日, 東京都港区, 9 月 20 日, 滋賀県大津市, 9 月 24 日, 東京都墨田区, 9 月 28 日, 福井県福井市, 10 月 4 日, 東京都港区, 10 月 11 日, 宇野 宏司

- (3) 小松島和田島町ブロック塀調査, 小松島ニュータウン, 2018 年 6 月 1 日, 上月 康則, 小川 宏樹
- (4) 小松島和田島町ブロック塀調査, 小松島ニュータウン, 2018 年 6 月 8 日, 上月 康則 ほか
- (5) 徳島市津田地区・中学生とのブロック塀調査, 津田新浜地区, 2018 年 7 月 23・24・30・31 日, 8 月 2 日, 上月 康則
- (6) 小松島和田島町での MMS によるブロック塀調査, 小松島春日地区・ニュータウン, 2018 年 8 月 2 日, 上月 康則
- (7) 伝統的神社空間の価値構造把握に関する調査, 徳島県美波町, 2018 年 10 月 20・21 日, 宇野 宏司
- (8) 高知県の防災学習資源調査, 2018 年 10 月 21・22 日, 高知市, 土佐清水市など, 上月 康則
- (9) 仙台貞観運河の復興 (全国運河サミット in みやぎ), 2018 年 10 月 26・27 日, 貞観運河, 上月 康則
- (10) 社叢林の実態把握調査, 兵庫県神戸市, 2018 年 11 月 12 日, 12 月 3 日, 12 月 10 日, 宇野 宏司
- (11) 社叢林の実態把握調査, 兵庫県淡路島, 2018 年 11 月 19 日, 宇野 宏司
- (12) 社叢林に関する文献調査, 大阪府大阪市, 2018 年 11 月 26 日, 宇野 宏司
- (13) 伝統的神社空間の価値構造把握に関する調査, 和歌山県和歌山市, 2018 年 12 月 2 日, 宇野 宏司
- (14) 社叢林の実態把握調査, 奈良県宇陀市, 2018 年 12 月 26 日, 宇野 宏司
- (15) 沿岸部砂浜の環境・防災機能に関する文献調査, 茨城県つくば市, 2019 年 1 月 24 日, 宇野 宏司
- (16) 伝統文化財の防災施策に関する情報収集, 京都府京都市, 2019 年 2 月 11 日, 宇野 宏司
- (17) 伝統的神社空間の価値構造把握に関する社会実験, 和歌山県和歌山市, 2019 年 2 月 16 日, 宇野 宏司
- (18) 沿岸部砂浜の環境・防災機能に関する情報収集, 東京都文京区, 2019 年 2 月 28 日, 宇野 宏司
- (19) 災害情報研究に関する情報収集, 京都府京都市, 2019 年 3 月 2 日, 宇野 宏司
- (20) 沿岸部砂浜の環境・防災機能に関する情報収集, 東京都新宿区, 2019 年 3 月 6 日, 宇野 宏司
- (21) 伝統文化財の防災施策に関する情報収集, 大阪府大阪狭山市, 2019 年 3 月 16 日, 宇野 宏司

4. 社会貢献

4. 1 外部委員等（依頼機関，委員会等名，委嘱期間，職名 など）

中野 晋

- (1) 西日本高速道路株式会社四国支社，四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会・委員及び環境部会部，2018年4月6日，会長
- (2) 徳島県・南海トラフ沿いに異常な現象への防災対応検討委員会，2018年5月8日
- (3) 徳島県環境審議会環境政策部会環境基本計画小委員会，2018年5月10日，10月1日，11月16日，2019年1月17日，委員
- (4) 徳島市都市適正化配置計画検討委員会，2018年5月24日，委員
- (5) 徳島県・とくしま流域水管理委員会，2018年5月25日，9月7日，委員
- (6) 土木学会水工学委員会水害対策小委員会，2018年6月5日，地区委員
- (7) 徳島県環境審議会自然環境部会，2018年6月8日，8月17日，部会長
- (8) とくしま地震防災県民会議，2018年6月11日，会長
- (9) 徳島県南部防災館指定管理者選定委員会，2018年7月10日，委員長
- (10) スタジアム防災検討会，2018年7月13日
- (11) 徳島県地域継続推進協議会，2018年7月17日，会長
- (12) 国土交通省国土総合技術研究所研究評価委員会第三部会，2018年7月19日，委員
- (13) 津乃峰小学校防災教育推進委員会，2018年8月16日，アドバイザー
- (14) 第1回徳島県復興指針検討委員会，2018年9月3日，副委員長
- (15) 平成30年度第1回四国建設業BCP等審査会，2018年9月6日，委員
- (16) 日本安全教育学会理事会，2018年9月8日，理事
- (17) 徳島県消防広域化計画策定委員会，2018年9月14日
- (18) 第10回吉野川渡河橋検討会，2018年9月14日
- (19) 徳島県企業BCP委員会，2018年9月25日
- (20) 徳島県環境審議会総会，2018年10月9日
- (21) 徳島県南部防災館指定管理者検討委員会，2018年10月10日
- (22) 徳島県南部圏域防災対策有識者会議，2018年10月15日
- (23) 徳島県防災フェスタ，2018年10月21日
- (24) 阿南市津乃峰小学校防災教育推進委員会，2018年10月26日
- (25) 徳島市立地適正化計画策定検討会，2018年11月6日，委員
- (26) 徳島県消防広域化検討委員会，2018年11月7日，委員長
- (27) 徳島県復興指針検討委員会，2018年11月7日，委員
- (28) 徳島県防災対応方針検討委員会，2018年11月12日，委員
- (29) 徳島県環境審議会気候変動部会，2018年11月22日，部会長
- (30) 平成30年度「徳島県まなぼうさい活動賞」県知事表彰の検討会，2018年11月29日，12月21日，会長
- (31) 国土交通省国土技術総合研究所研究評価委員会第3部会，2018年11月30日，委員
- (32) 第4回徳島県防災対応方針検討委員会，2018年12月3日，委員

- (33) 徳島県復興指針検討委員会, 2018年12月26日, 委員
- (34) 徳島県消防広域化検討委員会, 2019年1月18日, 委員長
- (35) 徳島県教育委員会臨時情報検討委員会, 2019年1月22日, アドバイザー
- (36) 徳島県教育委員会実践的安全教育推進委員会, 2019年1月24日, 委員
- (37) 浅川港BCP検討委員会, 2019年1月28日, 委員長
- (38) 吉野川学識者会議, 2019年2月8日, 会長
- (39) 阿南市津乃峰小学校防災教育推進委員会, 2019年2月19日, アドバイザー
- (40) 第2回徳島県教育委員会臨時情報検討委員会, 2019年2月21日, アドバイザー
- (41) 徳島県国土強靱化地域計画検討委員会, 2019年2月26日, 委員長
- (42) 阿南市風力発電検討準備会, 2019年2月27日, 委員長
- (43) 第11回四国の港湾における地震・津波対策検討会議, 2019年2月28日, 委員

上月 康則

- (1) NPO 瀬戸内海研究会議, 2016年4月1日～2019年3月31日, 理事
- (2) 国交省四国地方整備局, 四国地方ダム等管理フォローアップ委員会, 2016年8月1日～2020年3月31日, 委員
- (3) 徳島県, 徳島県内水面漁場管理委員会, 2016年12月20日～2020年12月19日, 委員
- (4) 阿南市, 阿南市水道事業審議会, 2017年4月1日～2019年3月31日, 委員長
- (5) 徳島県, 徳島県廃棄物処理施設設置専門委員会, 2017年4月1日～2019年3月31日, 委員
- (6) 徳島県, 徳島県田園環境検討委員会, 2018年1月15日～2020年1月14日, 委員長
- (7) 全国運河サミット運営委員会, 2018年3月1日～2019年3月31日, 委員
- (8) 高知大学, 高知大学農林海洋学部・非常勤講師, 2018年4月1日～2019年9月30日
- (9) 神戸大学, 神戸大学教員教授, 2018年4月1日～2019年3月31日
- (10) 神戸大学, 神戸大学海事科学部・非常勤講師, 2018年4月1日～2019年3月31日
- (11) 国交省四国地方整備局, 吉野川学識者会議, 2018年4月1日～2019年3月31日, 委員
- (12) 土木学会, 環境研究部門環境システム委員会, 2018年4月1日～2019年3月31日, 委員
- (13) 一般社団法人大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア, 2018年4月1日～2019年3月31日, 委員
- (14) 徳島県, 徳島県内水面漁場管理委員会, 2018年4月1日～2019年3月31日, 委員
- (15) 公益社団法人徳島県環境技術センター, 徳島県浄化槽管理士特別認定制度審査委員会, 2018年4月1日～2019年3月31日, 委員長
- (16) 環境省, 閉鎖性海域における環境技術実証事業 ETV 事業, 2018年4月1日～2019年3月31日, 委員
- (17) 徳島県, 環境アドバイザー, 2018年4月1日～2019年3月31日, アドバイザー
- (18) 西日本高速道路株式会社, 四国横断自動車道吉野川渡河部の環境保全に関する検討会, 2018年4月1日～2019年3月31日, 委員
- (19) 徳島県, 徳島県公共事業評価委員会, 2018年4月1日～2019年3月31日, 委員
- (20) 徳島県, 土木環境配慮アドバイザー, 2018年4月1日～2019年3月31日, 委員
- (21) 水環境学会中四国支部, 2018年4月1日～2019年3月31日, 幹事

- (22) 尼崎運河〇〇クラブ，2018年4月1日～2019年3月31日，委員
- (23) 国交省四国地方整備局，四国地方整備局総合評価委員会地域小委員会，2018年5月1日～2019年10月2日，委員
- (24) 徳島市，徳島市水道ビジョン2019策定市民会議，2018年6月1日～2019年3月31日，委員長
- (25) 兵庫県，尼崎21世紀の森づくり協議会，2018年6月1日～2019年3月31日，委員
- (26) 徳島県，吉野川スジオアノリ漁場調査検討会，2018年6月8日～2019年3月31日，委員
- (27) 徳島市，一般廃棄物中間処理施設整備基本計画技術検討会議，2018年6月10日～2019年3月31日，委員
- (28) 徳島県，旧吉野川浄化センター栄養塩管理運転検討会，2018年6月10日～2019年3月31日，委員長
- (29) 徳島県水道ビジョン検討委員会，2018年7月20日～2019年3月31日，委員
- (30) 愛媛大学，愛媛大学工学部・非常勤講師，2018年9月26日～2019年9月30日
- (31) 閉鎖性海域水環境改善対策調査検討業務検討会，2018年10月17日～2019年3月31日，委員
- (32) 徳島市営地下駐車場指定管理候補者選定委員会，2018年10月5日～2019年3月31日，委員
- (33) 徳島市水道局庁舎整備検討会議，2018年11月28日～2019年6月30日，委員長
- (34) 阿南市地球温暖化対策市民会議，2018年11月14日～2019年3月31日，委員

<防災研究部門>

馬場 俊孝

- (1) 地震調査研究推進本部津波評価部会，2019年2月28日

安間 了

- (1) Chikyu IODP Board (CIB)委員，日本地球掘削コンソーシアム・海洋開発研究機構，Chikyu IODP Board (CIB)，2018年10月～2020年9月，委員
- (2) 科研費審査委員

西山 賢一

- (1) 徳島県学校防災アドバイザー
- (2) 消防庁防災アドバイザー
- (3) 国土交通省四国地方整備局道路部道路管理課，2018年4月1日～2019年3月31日，道路防災有識者
- (4) 徳島県環境審議会，温泉部会，委員
- (5) 徳島県廃棄物処理施設設置専門委員会，委員
- (6) 日本原子力研究開発機構，地質環境長期安定性評価技術高度化開発委員会，委員

山中 亮一

- (1) 高知大学農林海洋科学部，非常勤講師

<災害医療部門>

内海 千種

- (1) 徳島県, 徳島県防災会議, 2015年9月～, 委員
- (2) (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構, 兵庫県こころのケアセンター, こころのケア研究推進協議会, 2016年3月～, 委員
- (3) 日本トラウマティック・ストレス学会, 2015年6月19日～, 理事(広報委員長), 2016年5月19日～, 災害対応委員

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) 環境省自然環境局生物多様性センター, 平成30年度環境に配慮した再生可能エネルギー導入検討に向けた植生調査植生図作成業務に係る中国四国ブロック調査会議, 2018年9月～2019年3月, 委員
- (2) 中国四国農政局四国東部農地防災事業所, 吉野川下流域農地防災事業に係る河川環境調査委員会, 2017年7月～2019年3月, 委員
- (3) 国土交通省四国地方整備局, 吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会, 2017年10月～2019年3月, 委員
- (4) 国土交通省四国地方整備局, 四国圏域生態系ネットワーク推進協議会, 2018年1月～2019年3月, 委員
- (5) 徳島県, 環境審議会, 2018年8月～2020年7月, 委員(鳥獣保護部会長)
- (6) 徳島県県民環境部, 徳島県希少野生生物保護検討委員会, 2017年4月～2019年3月, 委員長
- (7) 徳島県県民環境部, とくしま生物多様性活動推進協議会, 2017年4月～2019年3月, 会長
- (8) 徳島県環境総局環境首都課, 徳島県環境アドバイザー, 2018年4月～2020年3月
- (9) 徳島県西部総合県民局, 剣山国定公園地域連携協議会, 2018年5月～2020年5月, 会長
- (10) 徳島県県土整備部, 土木環境配慮アドバイザー, 2018年4月～2020年3月, 委員
- (11) 徳島市教育委員会, 徳島市文化財保護審議会, 2016年6月～2019年5月, 委員
- (12) 西日本高速道路株式会社, 四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会, 2017年4月～2018年3月, 委員(環境部会副部会長)
- (13) 公益社団法人 森林文化協会, 森林環境研究会, 2017年4月～2019年3月, 幹事
- (14) 億首川マングローブ保全・活用推進協議会, 2018年10月19日～2019年3月31日, 委員

山中 亮一

- (1) 徳島県生物多様性地域戦略検討小委員会, 委員
- (2) 土木学会海岸工学委員会減災アセスメント小委員会, 委員
- (3) 兵庫県立尼崎小田高等学校文部科学省指定スーパーサイエンスハイスクールに係る探究アドバイザー, 探究アドバイザー
- (4) 那賀川学識者会議(国土交通省四国地方整備局 那賀川河川事務所), 委員
- (5) 長安ロダム環境モニタリング委員会(国土交通省四国地方整備局 那賀川河川事務所), 委員
- (6) 日本船舶海洋工学会海洋における生態系サービスの評価に関する研究委員会, 委員

渡辺 公次郎

- (1) 国土交通省四国地方整備局，災害に強いまちづくり検討会，2018年4月～2019年3月，委員

中西 敬

- (1) 蒲郡市，三河湾環境チャレンジ実行委員会教育部会，2018年4月～2019年3月，副部会長
- (2) 兵庫県立尼崎小田高校，スーパーサイエンスハイスクール運営委員会，2018年4月～2019年3月，副委員長

小串 重治

- (1) 蒲郡市企画部，三河湾環境チャレンジ実行委員会，2010年～，理事
- (2) 日本景観生態学会，企画交流委員会，2010年4月～，委員
- (3) 岡崎市環境部，岡崎市環境審議会，2016年10月～2020年9月，委員（生活環境部会）
- (4) 愛知県環境部地球温暖化対策課，愛知県地球温暖化防止委員会，2018年4月～2020年3月，委員

西田 貴明

- (1) 国土交通省・水産庁，ブルーカーボン研究会，2018年4月～2019年3月，委員
- (2) 滋賀県，しが生物多様性取組認証制度審査会，2018年11月～2019年2月，委員

<危機管理研究部門>

小川 宏樹

- (1) （独行）国民生活センター，商品テスト有識者会議，2018年4月1日～，委員

宇野 宏司

- (1) 土木学会論文集査読員，2007年4月～
- (2) CEJ論文査読員，2015年4月～
- (3) 福田川クリーンクラブ，2017年4月～，顧問
- (4) 土木学会関西支部ぶら・土木委員会，2017年4月～，代表幹事
- (5) 土木学会関西支部，FCC，2017年4月～，副代表幹事
- (6) CVV (Civil Veterans & Volunteers)，2017年4月～，会員
- (7) 土木学会海岸工学委員会地域研究活性化小委員会，2017年4月～，委員（大阪湾・瀬戸内海）
- (8) 土木学会海岸工学委員会，2018年台風21号沿岸災害調査団，2018年4月～2019年3月，団員
- (9) 土木学会関西支部西日本豪雨災害調査団，2018年4月～2019年3月，団員
- (10) 土木学会関西支部「次世代土木あり方検討委員会」，2018年4月～，委員
- (11) 土木学会誌編集委員会，2018年4月～2020年3月，委員
- (12) 国土交通省国土技術政策総合研究所，海辺の生物国勢調査に関する研究会，2018年4月～，委員
- (13) 吉野川学識者会議，2019年2月8日，会長
- (14) 阿南市津乃峰小学校防災教育推進委員会，2019年2月19日，アドバイザー
- (15) 第2回徳島県教育委員会臨時情報検討委員会，2019年2月21日，アドバイザー
- (16) 徳島県国土強靱化地域計画検討委員会，2019年2月26日，委員長

- (17) 阿南市風力発電検討準備会，2019年2月27日，委員長
- (18) 第11回四国の港湾における地震・津波対策検討会議，2019年2月28日，委員

湯浅 恭史

- (1) 徳島市，徳島市災害時対応力維持強化計画事業，2018年4月～5月，業務に係る委託業者選定者
- (2) 徳島県商工労働観光部，徳島県企業BCP委員会，2018年7月～2019年3月，オブザーバー
- (3) 徳島県県土整備部，大規模災害時における浅川港の機能継続計画検討会，2019年1月～3月，委員

金井 純子

- (1) 徳島県防災会議，2018年4月1日，2019年1月28日，委員
- (2) 徳島県防災人材育成センター，平成30年度地域連携・快適避難所運営モデル事業選定委員会，2018年6月4日，委員
- (3) 徳島県防災人材育成センター，平成30年度徳島県避難所等における災害関連死対策訓練業務委託業者選考委員会，2018年5月15日，委員
- (4) 徳島県危機管理部とくしまゼロ作戦課，進化する「とくしまゼロ作戦」緊急対策事業（チャレンジ枠・先進防災事業）選定委員会，2018年10月4日，2019年1月16日，委員

4.2 講師派遣（講演会等名称，講演題目，実施日，実施場所，主催機関，対象，参加者数 など）

中野 晋〈危機管理研究部門／防災研究部門〉

- (1) FMとくしま Compass 防災Café，徳島大学の防災イベントについて，2018年4月30日9：10～9：20
- (2) 2018年島根県西部地震災害調査報告会，インフラ被害と地盤災害，2018年5月2日，35名
- (3) 津乃峰小学校防災教育推進委員会，防災アドバイザー，2018年5月22日19：00～21：00，32名
- (4) 南海トラフ地震に関する情報についてのワークショップ，アドバイザー，2018年5月25日13：30～15：30，海陽町浅川漁民センター会議室，60名
- (5) FMとくしま Compass 防災Café，南海トラフ地震に関する臨時情報について，2018年5月28日9：10～9：20
- (6) 平成30年度（第36回）土砂災害防止全国の集い，基調講演「近年の災害を振り返り，その経験を今に活かす」，2018年6月6日13：45～14：45，国土交通省・徳島県主催，あわぎんホール，800名
- (7) 松茂町学校教育研究会研修会，「豪雨災害における学校防災管理」，2018年6月7日15：40～16：50，松茂町総合会館，70名
- (8) あいおいニッセイ同和損保社員研修会，「巨大化する風水害とリスクマネジメント」，2018年6月17日，あいおいニッセイ同和損保徳島支店，8名
- (9) 国府支援学校第1回PTA研修会，「南海トラフ巨大地震に備える～地域や学校で取り組む減災・防災～」，2018年6月18日10：30～12：00，70名
- (10) 南海トラフ地震に関する情報についてのワークショップ，アドバイザー，2018年6月22日19：00～21：00，里浦南防災センター，60名
- (11) FMとくしま，Compass 防災Café，「大阪北部地震について」，2018年6月25日放送（6月22

日スタジオ収録)

- (12) 方上学童保育クラブ指導員研修会,「方上地区周辺の災害環境と風水害時の安全管理」, 2018年6月27日, 方上学童保育クラブ, 8名
- (13) 平成30年度徳島県地域防災推進員養成講座,「災害図上訓練」, 2018年7月9日, 106名
- (14) 那賀高等学校防災講演会,「豪雨災害に備える」, 2018年7月12日, 240名
- (15) 自治体BCP策定研修会(県南地区), 2018年7月20日, 阿南市役所, 9名
- (16) 平成30年度徳島県地域防災推進員養成講座,「最近の自然災害/防災士とは」, 2018年7月22日, 106名
- (17) FMとくしま, Compass 防災Café,「西日本大阪北部地震について」, 2018年7月23日放送(7月17日スタジオ収録)
- (18) 名東町桃の実学童クラブ,「防災クイズと登下校路の安全マップづくり」, 2018年7月25日, 50名
- (19) 自治体BCP策定研修会(県北地区), 2018年7月26日, 徳島県庁, 9名
- (20) 自治体BCP策定研修会(県央地区), 2018年7月27日, 徳島県庁, 12名
- (21) 平成30年度徳島県地域防災推進員養成講座,「地震に関する知見・情報」, 徳島大学, 2018年7月28日, 106名
- (22) 大津西児童クラブ防災学習,「防災クイズと図上避難訓練」, 2018年7月31日, 38名
- (23) 平成30年度徳島県職員防災研修会,「近年の自然災害/防災士とは」, 徳島県自治研修センター, 2018年8月1日, 140名
- (24) 平成30年度徳島県職員防災研修会,「災害図上訓練」, 徳島県自治研修センター, 2018年8月2日, 140名
- (25) 公益財団法人 かがわ健康福祉機構,「災害時の業務継続と相互応援」, 香川県総合福祉センター, 2018年8月7日, 140名
- (26) 平成30年度徳島県職員防災研修会,「地震に関する知見・情報」, 徳島県自治研修センター, 2018年8月9日, 140名
- (27) NHK第1放送ラジオ, 防災ネットワーク,「ダム of 放流と被害」, 2018年8月13日, 7時42分～50分
- (28) 徳島県阿波っ子防災士養成講座,「地震のしくみと被害」,「津波のしくみと被害」, あわぎんホール会議室, 2018年8月19日, 100名
- (29) 教員免許状更新講習,「自然災害と学校安全管理」, 2018年8月20日, 10名
- (30) 津乃峰小学校防災研修会アドバイザー, 阿南市津乃峰町防災公園, 2018年8月25日
- (31) 愛媛県防災士養成講座(久万高原町),「危機管理の基本」, 久万高原町消防本部, 2018年8月26日, 37名
- (32) FMとくしま, Compass 防災Café,「2018年台風20号の被害について」, 2018年8月27日生放送出演
- (33) つるぎ町教育委員会学校防災研修会, つるぎ町農業改善センター, 2018年8月27日, 24名
- (34) 徳島県建設業BCPフォローアップセミナー, 9月5日, 徳島県職員会館, 約50名
- (35) 石井町・神山町・上板町学童保育指導員研修会, 9月11日, 石井町地域防災センター, 約100名
- (36) 自治体BCP策定研修会(県西地区), 9月11日13:30～16:00, 徳島県立西部防災館, 参加者9名
- (37) 阿南市立中野島小学校防災学習, 9月15日, 約180名

- (38) FM とくしま, Compass 防災 Café, 「北海道胆振東部地震と台風 21 号災害について」, 9 月 24 日
放送 (9 月 18 日スタジオ収録)
- (39) 平成 30 年度自治研修セミナー, 「地震・津波災害と危機管理」, 2018 年 10 月 4 日, 徳島県自治研
修センター, 60 名
- (40) 平成 30 年度自治研修セミナー, 「自治体のリスクマネジメントとBCP」, 2018 年 10 月 4 日, 徳
島県自治研修センター, 60 名
- (41) FM とくしま, Compass 防災 Café, 「非常用持ち出し袋について」, 2018 年 10 月 16 日, (10 月
29 日放送)
- (42) 四国大学非常勤講師「災害と防災」, 2018 年 10 月 19 日, 110 名
- (43) 愛媛県防災士養成講座 (八幡浜市), 「危機管理の基本」, 2018 年 10 月 27 日, 愛媛県南予地方局
八幡浜庁舎, 104 名
- (44) 徳島県立那賀高等学校, 「避難所の安全度を調べよう」, 2018 年 10 月 28 日, 16 名
- (45) 平成 30 年度治山林道技術研修, 「最近の豪雨災害と防災」, 2018 年 10 月 30 日, 徳島県建設セン
ター, 110 名
- (46) 地域継続シンポジウム/パネルディスカッション「いま徳島に必要なこと」, 2018 年 11 月 5 日,
徳島県教育会館, 75 名
- (47) 愛媛県防災士養成講座 (四国中央市), 「危機管理の基本」, 2018 年 11 月 10 日, 四国中央市消防
防災センター, 60 名
- (48) 地域防災力充実強化大会 in 徳島 2018, 全国の地域防災活動の事例報告・総括, 2018 年 11 月 13
日, アスティとくしま, 800 名
- (49) 阿南市保育協議会研修会, 広域水害に備えよう, 阿南市ひまわり会館, 2018 年 11 月 17 日, 100 名
- (50) FM とくしま, Compass 防災 Café, 「南海トラフ地震について」, 2018 年 11 月 18 日, (11 月 26
日放送)
- (51) 徳島県遺体対応・遺族支援研究会, 大災害時の医療継続と検視活動支援, 2018 年 11 月 22 日, 徳
島県医師会館, 100 名
- (52) 愛媛県防災士養成講座 (宇和島市), 「危機管理の基本」, 2018 年 11 月 24 日, 愛媛県南予地方局
宇和島庁舎, 60 名
- (53) 地方公共団体における受援体制の構築研修会 (愛媛県), 実効性のある自治体BCPのために,
2018 年 12 月 12 日, 愛媛県庁, 45 名
- (54) 愛媛県防災士養成講座 (新居浜市), 「危機管理の基本」, 2018 年 12 月 15 日, 新居浜市中央消防
センター, 80 名
- (55) 平成 30 年度事業所内保育施設等保育従事者研修会, 保育所での地震対策 ～災害時アクションカ
ードで緊急対応～, アスティとくしま会議室, 2018 年 12 月 16 日, 110 名
- (56) FM とくしま, Compass 防災 Café, 「震潮記から読み解く南海トラフ地震」, 2018 年 12 月 18 日,
(12 月 24 日放送)
- (57) 徳島県シルバー大学院防災講座, 最近の豪雨災害から学ぶ, 徳島県立防災センター, 2018 年 12
月 19 日, 25 名
- (58) 地方公共団体における受援体制の構築研修会 (香川県), 実効性のある自治体BCPのために,
2018 年 12 月 20 日, 香川用水記念館, 24 名

- (59) 愛媛県防災士養成講座（西条市）、「危機管理の基本」，2019年1月5日，愛媛県東予地方局西条庁舎，70名
- (60) 愛媛県防災士養成講座（宇和島市）、「危機管理の基本」，2019年1月14日，愛媛県南予地方局宇和島庁舎，97名
- (61) FMとくしま，Compass 防災 Café，「西日本豪雨災害での住民避難について」，2019年1月15日，（1月28日放送）
- (62) 四国防災トップセミナー，アドバイザー，2019年1月30日，国土交通省四国地方整備局
- (63) 徳島市公立保育所職員防災研修，2019年1月31日，津田保育所，60名
- (64) 四国地方整備局航路啓開机上訓練，アドバイザー，2019年2月4日，高松サンポート合同庁舎，100名程度
- (65) 愛媛県防災士養成講座（愛媛県職員）、「危機管理の基本」，2019年2月6日，愛媛県庁，90名
- (66) 愛媛県防災士養成講座（松山市）、「危機管理の基本」，2019年2月16日，松山市消防防災センター，90名
- (67) 津乃峰防災と人権のシンポジウム，パネルディスカッション・助言者，2019年2月18日，津乃峰総合センター，50名
- (68) FMとくしま，Compass 防災 Café，「建物の耐震化と耐震診断」，2019年2月19日，（2月25日放送）
- (69) 四国放送テレビ，フォーカス徳島，「津波避難について，牟岐町」，2019年2月19日

<防災研究部門>

馬場 俊孝

- (1) 四国放送テレビ，フォーカス徳島，「津波避難について，浅川町」，2019年2月5日

長尾 文明

- (1) 台風21号に伴う広域強風災害の調査速報会（一般公開），徳島県における被害，2018年9月27日（木）16:00～19:00，日本大学理工学部1号館122会議室，日本風工学会風災害研究会
- (2) 第36回郷土文化講座「とくしまが誇るものづくり文化」後期：「橋」，橋と風，2018年10月20日（土）14:00～15:30，阿波銀ホール5F小ホール，：（公財）徳島県文化振興財団
- (3) 地域継続シンポジウム～いま徳島に必要なことを考える～，近年の強風災害を振りかえる，2018年11月5日（月）13:30～15:00，教育会館，76名

安間 了

- (1) ACES Awaji 巡検案内，2018年9月29日

蔣 景彩

- (1) 2018年島根県西部地震災害調査報告会，インフラ被害と地盤災害（防災研究），2018年5月2日，35名

西山 賢一

- (1) 平成 30 年度徳島県地域防災推進員短期養成講座，火山災害・土砂災害，2018 年 7 月，109 名
- (2) 徳島県立総合教育センター教員 10 年経験者研修（県大学連携，徳島大学総合科学部），徳島の自然環境と災害，2018 年 7 月
- (3) 平成 30 年度徳島県職員研修，火山災害・土砂災害，2018 年 8 月，140 名
- (4) 吉野川下流地域地下水利用対策協議会講演，吉野川下流域の地下地質と地下水，2018 年 8 月，約 40 名
- (5) つるぎ町学校防災に関する研修会，徳島県で過去に発生した土砂災害に学ぶ，2018 年 9 月，約 20 名
- (6) 徳島県立鴨島支援学校・教職員向け防災講演会，気象情報を活用して身を守る，2018 年 11 月，約 20 名
- (7) 徳島県高等学校教育研究会理科学会地学部会講義，「2018 年に発生した土砂災害から学ぶ」ならびに現地見学（三好市山城町），2018 年 12 月 12 日，約 15 名
- (8) 第 18 回日本地質学会四国支部巡検，眉山の青色片岩と岩盤クリープ，2018 年 12 月 15 日，徳島市眉山，日本地質学会四国支部，一般市民，17 名

青矢 睦月

- (1) 第 18 回日本地質学会四国支部巡検，眉山の青色片岩と岩盤クリープ，2018 年 12 月 15 日，徳島市眉山，日本地質学会四国支部，一般市民，17 名

<災害医療研究部門>

西村 明儒

- (1) 防災リーダー養成講座，防災・減災基礎「災害医療」，2018 年 5 月 9 日，徳島大学，学生・一般 127 名
- (2) 防災士研修講座，災害医療
防災士研修センター主催
2018 年 6 月 30 日，堺，堺市北区の自主防災組織など自治体推薦者，約 55 人
2018 年 8 月 4 日，大阪，学生，自治体推薦者，道路関係，工場，他企業防災担当者等，約 120 人
2018 年 8 月 12 日，岐阜，自主防災組織等、岐阜市の推薦者，約 50 人
2018 年 8 月 18 日，倉敷，自主防災会など、倉敷市推薦者，約 50 人
2018 年 8 月 20 日，徳島，徳島県内の高校生、中学生 10 名を含む，約 165 人
2018 年 9 月 9 日，赤磐，自治体推薦者，学生，全労済，自衛隊員，他企業防災担当者等，約 95 人
2018 年 9 月 30 日，大阪，郵便局長，学生，自治体推薦者，自衛隊員，議員，他企業防災担当者等，約 124 人
2018 年 11 月 24 日，大阪，学生，自治体推薦者，職員，警備会社，通信インフラ会社，他企業防災担当者等，約 80 人
2018 年 12 月 9 日，総社，総社市推薦者，学生，他企業防災担当者等，約 85 人
2018 年 12 月 15 日，大阪狭山，学生，自治体推薦者，自治会員，通信インフラ会社，鉄道会社，他企業防災担当者等，約 70 人

2018年12月23日，大阪，赤十字救急法救急員，学生，議員，老人介護・児童養護施設，他企業防災担当者等，約120人

2019年1月13日，大阪，大阪9月振替受講，郵便局長，学生，自主防災会，警備会社，他企業防災担当者等，約120人

2019年2月2日，大阪，学生，郵便局長，テレビ局，警備業，他企業防災担当者等，約120人

2019年2月15日，岡山，自治体推薦者，学生，他企業防災担当者等，約50人

2019年2月16日，大阪，学生，自治体推薦者・職員，他企業防災担当者等，約90人

2019年3月2日，大阪，学生，自治体推薦者・職員，高速道路事業者，他企業防災担当者等，約130人

2019年3月16日，大阪，学生，自治体推薦者，警備会社，通信インフラ会社，他企業防災担当者等，約110人

(3) 徳島県地域防災推進員養成研修（短期），災害医療，2018年7月15日，徳島大学共通講義棟K407教室，109名

(4) 徳島県新任職員研修講習，医学と災害，2018年8月2日，徳島県自治研修センター，県職員等，140名

(5) 第65回全国歯科大学同窓・校友会懇話会講演会，2018年8月11日12:30~15:00，場所，JRホテルクレメント徳島

(6) NTT防災士育成研修，災害医療

2018年9月14日，名古屋，10月24日，高松，11月9日，泉佐野，
NTTラーニングシステムズ主催，NTT関連会社社員，各日約100人

(7) 平成30年度 徳島県「警察・医師会・歯科医師会」合同災害時遺体対応訓練，2018年10月18日13:30~，徳島県警察本部警察学校体育館，徳島県医師会，徳島県歯科医師会，徳島県警，海上保安庁，海上自衛隊 ほか

内海 千種

(1) 惨事ストレスについて，2018年9月18日，徳島中央広域連合

(2) 災害時におけるメンタル・サポート -災害による心理的变化と対応の基本，2018年10月17日，日本労働組合総連合会徳島県連合会

(3) 災害時に起こる心理的变化と対応の工夫，2018年11月7日，徳島県発達障がい者総合支援センター ハナミズキ

(4) 災害時の心理的变化や対応の仕方，2018年11月26日，徳島県発達障がい者総合支援センター ハナミズキ

(5) 災害時における青少年の心のケア，2019年3月16日，徳島県青少年団体連絡協議会

<環境研究部門>

鎌田 磨人

(1) 鎌田磨人，第5回勝浦川流域フィールド講座，「山・川・海・人のつながり—講座説明」，2018年4月28日，エコみらいとくしま，徳島県・とくしま生物多様性センター・NPO 徳島保全生物学研究会・生物多様性とくしま会議，一般，20名

- (2) 鎌田磨人, 宝が池連続学習会 2018, 「里山・ネットワークで育まれる生物多様性の森とは? 宝が池の取り組み経緯と今後」, 2018年 5月 26日, 京都市, (公財)京都市都市緑化協会・京都府立大学, 一般, 30名
- (3) 鎌田磨人, 億首川マングローブ保全・活用推進協議会, 「億首川マングローブ林の保全と活用に関する研究実績」, 2018年 11月 21日, 沖縄県金武町, 億首川マングローブ保全・活用推進協議会, 協議会委員他, 20名
- (4) 鎌田磨人, 沖縄県における自然環境再生を推進させるための勉強会, 「身近な自然環境の再生とその進め方」, 2018年 12月 21日, 沖縄県(県庁), 沖縄県環境部環境再生課, 沖縄県内自治体職員等, 45名

上月 康則

- (1) SDGs 未来都市選定記念行事, ゲームで学ぶSDGs, 2018年 8月 10日, 上勝町, 徳島県, 町役場職員, 50名
- (2) とくしま SATOUMI リーダー育成講座, 五感で里海を楽しむ, 2018年 9月 2日, 徳島市, 特定非営利活動法人 環境首都とくしま創造センター, 市民, 30名
- (3) 全国運河サミット in 尼崎, 2018年 11月 16・17日, 尼崎リサーチ・インキュベーション, 兵庫県, 市民, 300名
- (4) 尼海フォーラム, 2019年 3月 23日, 尼崎図書館, 尼海の会, 市民, 45名

河口 洋一

- (1) 第5回勝浦川流域フィールド講座, 「川の恵みとその暮らしを支えるつながり—生き物のグローバルな一生」, 2018年 6月 10日, 高銚公民館, 徳島県・とくしま生物多様性センター・NPO 徳島保全生物学会・生物多様性とくしま会議, 一般, 16名

飯山 直樹

- (1) 第5回勝浦川流域フィールド講座, 「暮らしと奥山、その関わりの変遷」, 2018年 5月 13日, 高丸山千年の森ふれあい館, 徳島県・とくしま生物多様性センター・NPO 徳島保全生物学会・生物多様性とくしま会議, 一般, 20名

山中 亮一

- (1) 科学フェスティバル, 「ツナミ脱出ゲーム」, 2018年 8月 4日~5日, 徳島大学, 市民, 400名
- (2) 基調報告, 瀬戸内海研究フォーラム in 兵庫, 尼崎運河再生の取り組み, 2018年 8月 31日, 神戸大学, 瀬戸内海研究会議, 200名
- (3) 尼崎市立尼崎高校における模擬講義, 2018年 12月 17日, 40名

中西 敬

- (1) 海岸工学特論, 沿岸環境の変遷・現状と課題~工学と環境~, 2018年 5月 23日, 関西大学(大阪府吹田市), 関西大学, 大学院生及び4年生, 30名
- (2) 応用生物学特別講義「工学的手法による漁場環境改善」, 2018年 6月 13・14日, 水産大学校(山口

県下関市), 水産大学校, 2年生 200人を対象にした講義(1コマ)並びに4年生 20人を対象にした特別ゼミ(1コマ)

- (3) 大阪湾見守りネット総会, 大阪湾の環境の変遷と現況並びに新たな課題, 2018年7月1日, 大阪府立大学 I-site なんば, 大阪湾見守りネット, 見守りネット会員及び国土交通省職員, 約50名
- (4) 養殖衛生管理技術者等育成研修, 養殖漁場環境論, 2018年7月9日, 公益社団法人水産資源保護協会(東京都中央区)会議室, 公益社団法人水産資源保護協会, 全国地方自治体の水産職職員約40名
- (5) 飛島クリーンツーリズム夏休み親子体験, 海の環境を考える, 2018年7月30日~8月2日, 山形県酒田市飛島, 山形県・NPO法人パートナーシップオフィス, 山形県下の親子, 40組80名
- (6) 環境防災地域実践活動高校生サミット(第8回瀬戸内海の環境を考える高校生フォーラム), コメント, 2018年11月17日, 兵庫県立尼崎小田高校, 兵庫県立尼崎小田高校, 口頭発表14校, ポスター発表18校, 約150名

小串 重治

- (1) 第5回勝浦川流域フィールド講座, 「植物が教える里山の昔と今—ススキの原っぱがあった頃の農山村から学ぶ」, 2018年5月26日, 高丸山千年の森ふれあい館, 徳島県・とくしま生物多様性センター・NPO 徳島保全生物学研究会・生物多様性とくしま会議, 一般, 18名
- (2) 第8回早明浦ダム森の健康診断, 『早明浦ダム水源の森の過去・現在・そして未来』, 早明浦ダム管理事務所, 早明浦ダム森の健康診断実行委員会, 一般, 64名
- (3) スマホを用いた『秋の多摩川の水辺の外来植物さがし』, 2018年10月28日, 東京都市大学夢キャンパス, 一般社団法人生物多様性アカデミー, 一般, 62名
- (4) 第6回天使の森プロジェクト, 『郷土種による緑化と森づくり』, 2018年11月3日, 岡崎市森林組合, 一般社団法人アースワーカーエナジー, 一般, 82名
- (5) H30年度 徳島県立高丸山千年の森 千年の森セミナー, 『市民による環境モニタリング調査に係わる提案』, 2019年1月20日, 徳島市シビックセンター, 一般, 36名

西田 貴明

- (1) 人口減少時代の自然環境保全: 国内外のグリーンインフラへの期待、第831回環境科学セミナー (主催: 広島大学) 2018年6月15日
- (2) 国際シンポジウム: 都市景観をグリーンインフラから考える—金沢市における活用と協働—人口減少時代におけるグリーンインフラ (主催: 金沢大学), 2018年8月31日
- (3) グリーンインフラ、グリーンインフラ研究会 (主催: 滋賀経済同友会) 2018年9月12日
- (4) 人口減少時代における気候変動適応としての生態系を活用した防災減災 (Eco-DRR) の評価と社会実装 (主催: 環境省 環境研究総合推進費 戦略研究プロジェクト S-14) 2018年12月15日

<危機管理研究部門>

小川 宏樹

- (1) 第12回とくしま大学防災 Café, 木造住宅の耐震化について, 2019年3月14日(木), 徳島大学工業会館メモリアルホール, 45名

- (2) もっけんフォーラム, 耐震診断結果の数値化・可視化, 2019年3月21日, とくしま木造建築学校, 20名

上月 康則

- (1) 四国おひろのクローバー, 四国防災88話の解説, 毎週金曜日, 11:40~11:43, NHK 徳島
- (2) 防災士養成講座, ライフライン, 2018年7月8日, 徳島大学, 徳島県, 県民, 109名
- (3) 防災士養成講座, ライフライン, 2018年8月2日, 徳島県自治研修センター, 徳島県, 県職員, 140名
- (4) 科学フェスティバル, 「ツナミ脱出ゲーム」, 2018年8月4・5日, 徳島大学, 市民, 400名
- (5) 防災学習, 上板町自主防災組織連絡協議会設立講演, 2018年8月8日, 技の館, 板野町, 町民, 80名
- (6) 津田中学校での総合的な学習, 2018年9月21日, 津田中学校体育館, 98名
- (7) 防災学習, 安全に逃げる, 2018年10月6日, 沖洲学童保育ひまわりクラブ, 沖洲児童, 25名
- (8) ぼうさい謎解きゲーム(率先避難を知る&通学路のブロック塀の診断ができるように!) B&Gぼうさいキャンプ, 2018年9月23日, B&G論田体育館, 親子85名
- (9) 勝占中部地区自主防災組織, わがまちのブロック塀の点検と対策~南海トラフ巨大地震津波に備えて~, 2018年11月11日, 大松小学校, 85名
- (10) とくしま大学防災Café, 自分たちでできるブロック塀の安全点検と対策について~南海トラフ巨大地震津波に備えて~, 2018年11月22日, 徳島大学工業会館, 50名
- (11) 津波防災まちづくりと事前復興のあり方について(URと徳島大学), 事前復興について, 2018年11月30日, 都市機構西日本支社, 23名
- (12) 小松島市和田島町ニュータウン地区, ブロック塀の悉皆調査結果報告と対策について, 2018年12月1日, 和田島公民館, 20名
- (13) 市町村における被災時の住宅対応想定勉強会, あるある災害時の対応, 2018年12月13日, 木造利用創造センター, 56名
- (14) 徳島4局合同制作「いのちのラジオ 徳島の防災を考える」, 2019年2月23日 17:00~18:00, NHK徳島, 四国放送, エフエムびざん, FM徳島

山中 亮一

- (1) とくしま大学防災Café, 沿岸域での複合災害による被害予測と対策について, 2018年4月26日, 徳島大学工業会館, 70名

光原 弘幸

- (1) 第3回 とくしま大学防災Café, ICTを活用した防災教育について, ICT活用型防災教育の事例紹介および防災カードゲームの実施, 2018年6月28日, 徳島大学工業会館, 85名
- (2) 招待講演, ”How Should We Teach How to Survive Disasters?—Using ICT for Disaster Education—”, SEMIRATA International Conference on Educational Sciences and Teacher Profession (SEMIRATA ICETeP-2018), 2018年10月27日, Bengkulu, Indonesia

- (3) 2nd International Workshop on Information and Communication Technology for Disaster and Safety Education (ICTDSE2018), 開催 (オーガナイザとして), 2018年11月26日, Manila, Philippines

湯浅 恭史

- (1) 高大連携による出張講義 (徳島県立城ノ内高等学校), マインドマップ講座, 2018年6月14日, 11名
- (2) 災害対応演習, 藤崎電気株式会社, 2018年7月5日, 40名
- (3) 危機管理・企業防災と事業継続計画, 愛媛県防災士養成研修会, 2018年8月9日, 130名
- (4) BCP初動セミナー, 高知市産業政策課, 2018年8月21日, 60名
- (5) 徳島県建設業BCPフォローアップ研修会, 徳島県職員会館, 2018年9月5日, 45名
- (6) 自治体BCP策定研修会 (県西部地区), 2018年9月11日, 13:30~16:00, 徳島県立西部防災館, 9名
- (7) 医療機関BCPの基礎, 地域連携の会 絆, 2018年9月20日, 50名
- (8) 防災への取り組み, とくしま若者フューチャーセッション, 2018年9月29日, 40名
- (9) 自然災害のリスクマネジメント講座, 徳島県自治研修センター, 2018年10月4日, 50名
- (10) 非常食グルメ, 国府支援学校, 2018年11月7日, 50名
- (11) 高大連携による出張講義 (徳島県立池田高等学校辻校), マインドマップ講座, 2018年11月7日, 60名
- (12) 避難所運営ゲーム, 徳島県要約筆記協会, 2018年11月10日, 10名
- (13) 実効性のあるBCP, とくしま絆ネット, 2018年12月1日, 10名
- (14) 近年の災害から医療機関の事業継続を考える, 特定非営利活動法人事業継続推進機構, 2018年12月6日, 30名
- (15) 実効性のある医療機関のBCPとは, 徳島県保健福祉部, 2018年12月6日, 30名
- (16) 災害対応演習, 鳴門 YEG, 2018年12月8日, 20名
- (17) 実効性のある病院BCPとは, 東北大学病院, 2019年1月24日, 40名
- (18) 災害対応演習, 徳島県産業廃棄物協会, 2019年2月20日, 30名
- (19) 近年の災害から医療機関の事業継続を考える, 徳島県保健福祉部, 2019年3月14日, 50名

金井 純子

- (1) 重度障害者ネットワーク防災講習会, 重度障害者の防災について, 2018年4月1日, 徳島県立障がい者交流プラザ, 重度障害者ネットワーク, 重度障害者ネットワーク会員, 30名
- (2) 防災セミナー, 2018年4月15日, 南淡路ロイヤルホテル, 大和ハウス工業株式会社徳島支店, 会員, 100名
- (3) 災害に備える, 2018年6月1日, 阿波市役所, 阿波市, 阿波市民生委員, 100名
- (4) 平成30年リスクマネジメント研修会, 災害時アクションカードを作ろう, 2018年8月7日, 香川県社会福祉総合センター, 公益社団法人かがわ健康福祉機構, 香川県内の福祉施設職員, 130名
- (5) 平成30年度教員免許状更新講習, 自然災害と学校安全管理, 2018年8月20日, 徳島大学教養教育4号館, 徳島大学, 小中高教員, 11名
- (6) 勝浦町地区個別訓練, 災害に備える, 2018年9月2日, 星谷集会所, 勝浦町星谷地区地域防災団,

住民，120名

- (7) 徳島新聞第71回新聞週間座談会，平成から新時代へ何を伝えていくか，2018年9月26日，徳島新聞本社1階，徳島新聞社
- (8) 平成30年度城北高等学校「第1学年P-time報告会」，2018年10月18日・12月13日，城北高等学校，城北高等学校，1年生，50名
- (9) 第17回四国地方治水大会，要配慮者利用施設の避難確保に向けて，2018年10月26日，徳島グランヴィリオホテル，徳島県庁県土整備部河川整備課，自治体，150名
- (10) 平成30年度民生委員児童委員協議会副会長研修会，災害に備える，2018年10月30日，徳島グランヴィリオホテル，徳島県社会福祉協議会，民生委員，100名
- (11) 平成30年度にし阿波・福祉避難所開設運営訓練，地域で支える福祉避難所，2018年10月31日（訓練準備会），2018年11月11日（訓練），特別養護老人ホーム健祥会たんぼぼ，徳島県西部総合県民局，施設職員と地域住民，50名
- (12) 身体障害者相談員研修会（西部会場），障がい者のための防災対策について，2018年11月1日，三好市地域交流センターはくあい，徳島県身体障害者連合会，身体障害者相談員，80名
- (13) 第2回地域連携防災研修会，作って食べて災害に備えよう，2018年11月7日，徳島県立国府支援学校寄宿舎ホール，国府支援学校PTA，保護者と国府町自主防災会，50名
- (14) 身体障害者相談員研修会（東部会場），障がい者のための防災対策について，2018年11月8日，徳島県立障がい者交流プラザ，徳島県身体障害者連合会，身体障害者相談員，80名
- (15) 防災学習，2018年12月12日，2019年1月16・18日，吉野川市立鴨島小学校，6年生65名
- (16) 災害と健康管理・メンタルヘルスケア「PFA研修」，2018年12月15日，香川大学医学部，香川大学危機管理先端教育研究センター，四国防災・危機管理特別プログラム履修生23名
- (17) 第2回災害救助の在り方に関する研修会，災害時のPFA，2019年1月8日，ピュアリティまびき，岡山県保健福祉部保健福祉課，岡山県職員等120名
- (18) 第1回家族防災計画ワークショップ，水害に備える，2019年1月26日，那賀町地域交流センター，徳島県県土整備部，那賀町住民50名
- (19) 石井町防災士会研修会，災害時のトイレ，2019年1月30日，石井町地域防災交流センター，石井町防災士会，石井町防災士60名
- (20) 県民防災シンポジウム，より良い災害支援とは・より良い家庭での備えとは，2019年3月9日，徳島県立防災センター，徳島県とくしまゼロ作戦課，一般100名
- (21) 第2回家族防災計画ワークショップ，水害に備える，2019年3月9日，那賀町地域交流センター，徳島県県土整備部，那賀町住民50名

宇野 宏治

- (1) 土木学会関西支部ぶら・土木22「なにわ八百八橋めぐり～中之島に架かる橋を巡る PART2～」企画担当代表，2018年
- (2) 土木学会関西支部FCCどぼくカフェ「土木を魅せる写真術」企画担当・コーディネーター，2018年6月16日
- (3) 土木学会関西支部FCCどぼくカフェ「素晴らしい橋の魅力」企画担当，2018年6月26日
- (4) 徳島大学環境防災研究センター第9回とくしま大学防災Café講師，2018年12月20日，44名

- (5) 神戸市立真陽小学校出前授業「遊んでまなぼう防災クイズ」, 2019年1月9日
- (6) 土木学会関西支部 FCC どぼくカフェ「トンネル写真の魅力」企画担当, 2019年1月12日
- (7) 神戸市立小部東小学校出前授業「遊んでまなぼう防災クイズ」, 2019年1月17日
- (8) 土木学会関西支部 FCC どぼくカフェ「ニッポン近代化の立役者たち ～産業遺産への憧憬～」企画担当, 2019年2月7日実施

4. 3 支援・協働（支援・協働の対象, 実施日, 実施場所, 依頼機関 など）

<防災研究部門>

山本 真由美

- (1) 乳児・児童・生徒の健やかな成長を支援するための発達支援活動, 福島県白河市住民, 2019年2月19日・20日, 福島県白河市保健センター, 白河市内幼稚園, 福島県白河市保健福祉部

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) 徳島県における生物多様性の主流化支援（生物多様性とくしま会議の共同代表として会の運営を支援）, 毎月第2水曜日, 徳島大学, 生物多様性とくしま会議
- (2) 徳島県における生物多様性の主流化支援（とくしま生物多様性活動推進協議会の会長として会の運営を支援）, 2018年6月23日, 7月4日, 8月20日, 10月29日, 11月29日, 徳島大学, とくしま生物多様性活動推進協議会

上月 康則

- (1) 沖楽会, 2018年4月14日, 沖洲学童, ルイスハンミョウについて
- (2) 尼海の会, 2018年5月6日, 尼崎港とのびのび公園, ワカメの刈り取りと堆肥化
- (3) 沖楽会, 2018年5月12日, 沖洲学童, 海浜での魚釣り
- (4) 沖楽会, 2018年6月2日, 沖洲学童, 海浜での生き物探し
- (5) 沖楽会, 2018年7月14日, 沖洲学童, ルイスハンミョウクイズ
- (6) ガタガール, 2018年7月21日, あらい浜風公園, ネイチャーゲーム
- (7) 沖楽会, 2018年8月4日, 沖洲学童, 海辺の運動会
- (8) 尼海の会, 2018年8月12日, 尼崎港, ムラサキイガイの剥ぎ取りと堆肥化
- (9) 沖楽会, 2018年9月15日, 通学路のブロック塀の診断ができるように!, 沖洲学童と小学校周辺, 23名
- (10) 沖洲学童での学習会, 漂着物アートをつくろう, 2018年9月15日, 沖洲海浜, 15名
- (11) 尼崎運河環境学習会, 運河の歴史, 環境, 浄化の仕組みと自分たちでできることを考える, 2018年10月5日, 尼崎運河, 100名
- (12) SDGs 講演会, カードゲームで楽しく学ぶ SDGs (SDGs を自分ごとにする), 2018年10月13日, 尼崎市立成良中学校, 中学生と一般 35名
- (13) この浦舟池・環境学習会, ミニ干潟の生き物しらべ, 2018年10月20日, 高砂あらい浜風公園, 児童と一般 25名

- (14) 全国運河サミット in 尼崎, ワークショップ・運河マモル, 2018年11月16日・17日, 80名, 尼崎リサーチインキュベーションセンター
- (15) 尼海の会学習会, 2018年12月24日, ワカメの栽培～種糸の設置～

山中 亮一

- (1) 尼崎運河オープンチャネルデイ, 主催: 尼崎運河〇〇クラブ
実施日: 2018年4月15日, 5月20日, 6月17日, 7月15日, 8月19日, 9月16日, 10月21日, 10月18日, 11月16日, 2019年1月20日, 2月17日, 3月17日
- (2) 尼崎運河における小学生向け環境学習会,
実施日(対象校): 2018年5月29日(七松小), 6月5日(園和北小), 9月3日(立花南小), 10月5日(長洲小), 11月15日(明城小)

中西 敬

- (1) 支援(コーディネーター)第15回ほっといたらあかんやん!大阪湾フォーラム, 2019年3月9日, 堺市浜寺公園, 大阪湾見守りネット・国土交通省近畿地方整備局, 一般200名

小串 重治

- (1) 日本のサクラ, モモを守る!クビアカツヤカミキリ撲滅プロジェクト, 2018年5月～9月, スマホを利用した市民モニタリングシステムの提供と情報分析の支援

<危機管理研究部門>

小川 宏樹

- (1) 上月康則・小川宏樹, 県産材を活用した木製品の開発(コンクリートブロック塀に替わる木柵塀の開発), 2018年7月30日, 8月6日・14日, 徳島大学常三島キャンパス, (株)もくさん

中野 晋

- (1) 中野 晋, 上月 康則, 馬場 俊孝 ほか, (株)一条工務店・事前高台移転プロジェクト, 2018年9月6日～, (株)一条工務店との協議(9月6日, 18日), 阿南市との協議(9月7日, 18日), 美波町との協議(9月7日, 18日), 徳島市との協議(9月26日), 小松島市との協議(9月27日), 鳴門市との協議(9月28日), 阿南市との協議(10月23日)
- (2) スタジアム防災プロジェクト, 2018年11月17日, 鳴門市ポカリスエットスタジアム, 徳島ヴォルティス株式会社・鳴門市・徳島大学, 観客防災意識アンケート調査
- (3) 学校防災計画の策定指導, 2018年12月25日, 鳴門高等学校, 3名
- (4) 中野 晋, 金井純子, NHK徳島放送局, 高齢者福祉施設における南海トラフに関する臨時情報の認識度アンケート調査, 2018年11月中旬～12月5日
- (5) (株)一条工務店・事前高台プロジェクト, 2019年1月17日, 研究打合せ
- (6) 防災指導, 2019年1月17日, くるみ保育所(徳島市)
- (7) 防災指導, 2019年1月17日, 川内南アコール保育園(徳島市)
- (8) 防災指導, 2019年1月17日, まつしげ保育所(松茂町)

- (9) 防災指導, 2019年1月23日, もとしろ保育園(徳島市)
- (10) 防災指導, 2019年1月23日, 梅の花保育園(徳島市)
- (11) 防災指導, 2019年1月23日, 春日保育園(徳島市)
- (12) 防災指導, 2019年1月28日, 橘こどもセンター(阿南市)
- (13) 防災指導, 2019年1月29日, 認定こども園すくすく(鳴門市)
- (14) 防災指導, 2019年2月1日, 高川原保育所(石井町)
- (15) 防災指導, 2019年2月5日, みのだ保育園(東みよし町)
- (16) 高台移転プロジェクト, 2019年2月9日, 鳴門市長と協議
- (17) 防災指導, 2019年2月19日, 彩保育園(上勝町)
- (18) 高台移転プロジェクト, 2019年2月27日, 鳴門市経済企画官と協議

上月 康則

- (1) 徳島市津田中学校防災倶楽部, 2018年5月~2019年1月, 徳島市津田新浜地区, 徳島市津田中学校, 倶楽部による地区防災活動の支援
- (2) 上月康則・小川宏樹, 県産材を活用した木製品の開発(コンクリートブロック塀に替わる木柵塀の開発), 2018年7月30日, 8月6日・14日, 徳島大学常三島キャンパス, (株)もくさん
- (3) 避難所宿泊体験学習, 2018年8月25日, 阿南市津乃峰小学校運動場, 阿南市津乃峰小学校, 安全なブロック塀についての体験学習
- (4) 四国防災88話, NHKとくしま, 毎週金曜日放映(国交省四国地方整備局がとりまとめた四国防災88話のうち, 徳島のものを中心に紹介する一般視聴者向けの番組づくりの支援), 46回

光原 弘幸

- (1) バーチャル避難訓練実施, 2018年8月10日, 徳島市立津田中学校
- (2) バーチャル避難訓練実施, 2018年10月15日, 美波町立日和佐小学校
- (3) バーチャル避難訓練実施(2回目), 2018年11月5日, 美波町立日和佐小学校
- (4) デジタル防災マップ作成, 2018年11月12日, 美波町立日和佐小学校
- (5) デジタル防災マップ作成(2回目), 2018年11月19日, 美波町立日和佐小学校
- (6) 在住外国人のための防災ワークショップ in 美波, 2019年1月27日, 美波町

湯浅 恭史

- (1) 鳴門市第二中学校と地域自主防災会連携避難訓練, 鳴門市第二中学校, 2018年8月31日, 200名
- (2) スタジアム防災プロジェクトアンケート調査, ポカリスエットスタジアム, 2018年11月11日, 311名
- (3) スタジアム防災プロジェクト, 2018年11月17日, 鳴門市ポカリスエットスタジアム, 徳島ヴォルティス株式会社・鳴門市・徳島大学, 観客防災意識アンケート調査
- (4) なでしこBC連携, 徳島県西部防災館他, 2018年12月13日, 110名
- (5) 津波避難を考えるワークショップ, 大塚製薬工場と周辺自主防災会・鳴門市第二中学校, 2019年1月11日, 100名

金井 純子

- (1) 中野 晋, 金井純子, NHK徳島放送局, 高齢者福祉施設における南海トラフに関する臨時情報の認識度アンケート調査, 2018年11月中旬～12月5日

三上 卓

- (1) 「総括DIG訓練」, さぬき市公民館, 東讃地区地域災害医療対策会議, 2019年1月31日, 東讃地区地域災害医療対策会議構成機関の関係職員28名支援・協働

4.4 連携協定

<防災研究部門>

山本 真由美

- (1) 徳島大学医学部・総合科学部と福島県白河市, 原子力災害復興住民支援プロジェクト「不安を払い、希望を付与する放射線・運動教育・心理相談の住民密着型総合支援の取り組み」, 2019年1月10日付で協定締結

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) とくしま生物多様性センター, 徳島県における生物多様性の主流化に向けた活動支援, 2016年11月28日締結

4.5 その他

<環境研究部門>

馬場 俊孝

- (1) 津波防災について, エフエム眉山, B-STEP TALKING, 2018年4月17日

<危機管理研究部門>

光原 弘幸

- (1) FMびざん「防災cafe」出演, 2018年6月25日
- (2) NHK松山放送局「週刊防マガ」, 2019年1月28日
- (3) NHK松山放送局「四国らしんばん」, 2019年3月8日

湯浅 恭史

- (1) NHK松山放送局「週刊防マガ」, 平成30年7月豪雨での医療機関の被害と復旧, 2018年12月3日

4.6 活動報告

- ①連携による建設業の災害対応力強化の取り組み～湯浅 恭史

連携による建設業の災害対応力強化の取り組み

徳島大学環境防災研究センター 助教 湯浅恭史

1. はじめに

四国では、南海トラフ巨大地震の発生が懸念されており、日頃から地域を支えている建設業者はBCP（事業継続計画）の策定をはじめ、様々な取り組みを行っている。中でも徳島県の建設業者を中心に、BC（事業継続）の観点から企業間連携によって地域防災力や事業継続力を高めようとする取り組みが始まっている。その取り組みは女性が中心となって行われており、著者は発足当初から支援をしている。本章では、この女性目線の「なでしこBC連携」の取り組みについて報告する。

2. 災害対応から生まれた「なでしこBC連携」

（1）雪害対応から見えた課題

平成26年12月、徳島県西部に想定外とも言える大雪が降り、停電や電話の不通、倒木による通行止め、孤立集落の発生など多くの被害が発生した。被災地域の建設業者は、自衛隊と連携してライフラインの復旧や道路啓開を行うなど、普段の土木工事とは異なる作業に連日連夜、従事せざるを得ない状況となった。

そのうちの1社である美馬郡つるぎ町の株式会社井上組では、休みなく雪害対応にあたる社員が



写真-1 自衛隊との雪害道路啓開作業

疲弊していくのを目の当たりにし、被災地域の建設業者だけの災害復旧活動に限界を感じていた。こうした時、被災地域ではない徳島県東部の鳴門市にある株式会社福井組より、「何かお手伝いできることはありませんか？」との申し出があった。しかし、他社からの支援を受け入れる体制ができていなかったこと、災害対応のピークが過ぎていたことなどから、福井組からの支援が実現することはなかった。

井上組では、BCPを策定しており、四国地方整備局による「災害時の事業継続力認定」を受けていたが、災害時において1社だけの対応には限界があり、その対応策として建設業者同士の連携は、有効な選択肢となり得ることを実感した。製造業などの他業種では、自社の事業継続力を高めるため、戦略的に企業間連携への取り組みが進められていることなどを知り、建設業者として、それを実現するためには、平時から相互支援ができる体制づくりが必要であり、喫緊の課題であると認識した。井上組と福井組は、以前から経営者同士が懇意にしていたこともあり、2社による企業間連携に取り組むことに同意した。そして、災害時における連携を行う上で、どのようなことが課題となるのかについて検討を行った。

（2）2社連携に向けた課題と取り組み

連携に向けた課題として、「支援側が災害対応に



写真-2 なでしこパトロールの様子

従事する際の法的な体制の整備」、「支援のための交通手段や費用負担」、「指揮命令系統の確立」、「地域特性や業務内容の相互理解」等の様々な課題が挙げられたが、実施可能な課題から取り組むこととし、「地域特性や業務内容の相互理解」から始めることとした。

平成 27 年 2 月、地域特性や業務内容の理解を促進するため福井組の工事現場を井上組が訪問した。これは、井上組による「社外安全パトロール」として行われ、井上組が従前から社内で実施していた女性社員による点検「なでしこパトロール」として女性目線から合計 4 現場での作業環境のチェックを行った。

この「なでしこパトロール」には、この現場の発注者である四国地方整備局からも 5 名の女性職員が参加した。2 社による連携だけでなく、工事現場での女性登用という社会ニーズにも適合したこの取り組みは、業界誌などでも注目され、取り上げられた。この成果により、今後 2 社での連携はこの「なでしこパトロール」を中心にして取り組みを進めることとし、著者らにより「なでしこ BC 連携」と命名された。

3. 広がる「なでしこ BC 連携」

(1) 県内 3 社による連携と合同訓練の実施

井上組と福井組の 2 社は、平成 27 年 3 月に「災害時の支援協定」を締結し、連携に向けた取り組みを加速させた。平成 27 年 6 月には県南部の海部郡牟岐町の株式会社大竹組が参加し、徳島県内の県北部、県西部、県南部と基本的に商圈とリスクが異なる 3 社での取り組みとなった。この体制により、第 2 回目の「なでしこパトロール」が開催された。

相互理解だけでなく、災害時の対応体制をより実効性あるものとするため、平成 27 年 9 月には



写真-3 連携 3 社による合同訓練の実施

南海トラフ巨大地震の発生を想定した災害支援訓練を実施した。各社での初動対応訓練はもとより、応援要請を行い、実働での緊急支援のため人員・重機等を搬送した。現場では、支援の受け入れだけでなく、炊き出し訓練も実施された。

民間の建設業者が自発的に連携体を構築し、訓練等を実施するというこの取り組みは、地元の新聞やテレビでも報道もされ、社内外に大きな反響があった。

(2) 連携企業の広がり

このような取り組みを進める中で、井上組の担当者が岡山県内で開催された BCP の研修会に参加し、岡山県の建設業者とつながりができた。このつながりから、「なでしこパトロール」を岡山県の現場で行うこととなり、交流がスタートした。

平成 28 年 5 月、井上組による「なでしこ BC 連携」の取り組みが特定非営利活動法人事業継続推進機構 (BCAO) の BCAO アワード 2015 で表彰された際に、岡山県の建設業者も同様に表彰されており、互いの取り組みに感銘を受けたことから、岡山県の建設業者も「なでしこ BC 連携」に本格的に参加することとなった。

南海トラフ巨大地震などで徳島県内が大きく被災した場合には、県外からの支援の受け入れが必要と考えており、岡山県は徳島県とはリスクが異

なりつつも距離的に近く、災害時に応援を受けるには理想的な連携先だと考えられた。

また、連携を開始した当初は、徳島県内では商圏が重なるため、県内で連携企業を増やすことには懸念もあったが、参加を希望する徳島県内の建設業者等にも連携を広げることとなった。それは、この連携は社会的な意義が大きく、地域を守るといふ建設業者の使命を達成するためには、志を同じくする地域内の企業同士の連携が不可欠と感じたからである。

4. 取り組みの多様化

(1) 企業力向上の取り組み

平成 28 年 6 月には、岡山県の建設業者だけでなく、和歌山県の建設業者も参加して、企業間の情報連絡訓練、炊き出し訓練、「なでしこパトロール」を実施し、訓練後は訓練の反省会と「安全」、「品質」、「連携 BC」、「女性雇用・環境」の 4 つの分科会を開催し、積極的な意見交換を実施した。

この分科会は、災害時の連携だけでなく、平常時から多様な共通の課題を解決するために、他社の取り組み等についてベンチマーキングを行うものであり、連携各社の企業力向上を目指したものである。

また、平成 28 年 11 月には福井組の現場にて「なでしこパトロール」を行うとともに、現場で導入されている ICT 技術の現場見学会を併せて開催した。連携企業の得意分野を生かした技術等を連携企業間で共有し、互いに高め合うことは、「なでしこ BC 連携」のメリットのひとつとなった。

(2) 災害時の女性活用を目指した取り組み

これまで「なでしこパトロール」を中心に活動してきたことから、女性の活用についてより積極的に取り組むこととし、平成 29 年 8 月には、新たな取り組みとして連携企業と関係機関の女性職員



写真-4 女性目線で道路啓開を考える会

による「人命救助、道路啓開等の災害初動期を女性目線で考える会」が開催された。

大規模災害時の初動対応では、多くの男性職員が現場で活動することとなることから、事務所で中心となるのは女性職員となる。この場合に、どのような対応ができるかを意見交換し、南海トラフ巨大地震発生を想定して、図上訓練を実施した。参加者の得意分野を活かし、入ってきた情報に対して PC 入力による集約、SNS による情報発信・情報収集、事務手続きなど役割分担を行い、どのように連携すれば、より早的確に対応をすることができるかを検討した。

これまでの「なでしこ BC 連携」での取り組みにより、連携企業の女性職員同士で信頼関係が構築されており、互いを支援する体制が確立できていることが再認識された。また、平常時に行っている企業内での資材や経理の事務の知識・技術が、災害時にそれらを活用して情報処理や事務手続きの対応をすることが非常に有用だと確認できた。これらにより、災害時の女性職員の活用に大きな意義と有効性があると考えられる。

(3) 情報共有・情報発信の取り組み

平成 29 年 7 月には井上組ウェブサイト内に「なでしこ掲示板」を開設し、平時からの情報共有や安否確認訓練等、連携企業間で連絡し合える手段のひとつとして活用している。

また、平成30年2月からはFacebook ページを開設し、「なでしこ BC 連携」の取り組みだけでなく、連携企業の取り組みも含め、積極的に情報発信を行っている。

(4) 「なでしこ BCP パトロール」の実施

平成29年12月には、連携企業が自社のBCP文書を持ち寄り、各社の女性社員が、専門家によってあらかじめ検討されたチェックシートを用いて、互いに改善点等をチェックし合う取り組みである、「なでしこ BCP パトロール」が実施された。

これは、「なでしこパトロール」の現場チェックに着想を得たものであり、他社のBCP文書をチェックポイントにしたがって確認することで、女性社員がBCPに必要な要素や考え方を理解し、習得することを目的としている。

また、他社からのチェックによって、自社のBCPの改善点を明確にすることができ、他社のBCP文書にあった訓練記録を参考に、自社の訓練を企画・実施したり、必要な様式を追加したりするなど、自社のBCPの改善につなげることができた。

5. まとめ

この「なでしこ BC 連携」の取り組みは、2社からスタートし、3年あまり経過した。現在の連携企業は、平成30年9月現在で13社（徳島県内建設業者8社、食品製造業1社、岡山県内建設業者2社、和歌山県内建設業者2社）となり、建設コンサルタントで地質調査や設計・測量業務を得意分野にする企業も加わったことで、幅広く技術・技能を高め合うことができる体制になってきており、連携他社の取り組みなどを参考にしながら、自社のBCPや防災、地域貢献活動のレベルアップする取り組みも各社で進められている。

地域の建設業者が自発的に取り組み始め、女性の活用という社会的なテーマにも適合し、着実に

広がりを見せており、その影響は連携企業だけでなく、発注者である行政や他の関連企業にも及んでいる。

今後も、「なでしこパトロール」等の女性を中心とした活動を通じて、災害時だけでなく、平常時から互いを高め合う取り組みにしていきたいと考えている。



写真-5 なでしこ BCP パトロール

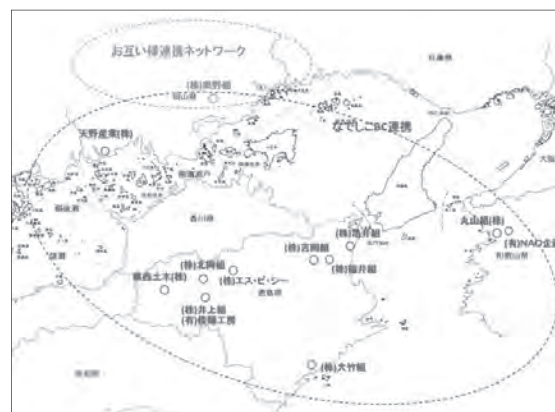


図-1 現在の「なでしこ BC 連携」

参考文献

- 1) 井上惣介, 福井和也, 喜井義典, 湯浅恭史: 災害対応力を高める地方建設企業の連携した取り組み, 土木学会第33回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会講演集, pp.17-20, 2015.
- 2) 福井和也, 井上惣介, 喜井義典, 根来慎太郎, 湯浅恭史: 災害対応力を高める地方建設企業の連携した取り組み, 土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, vol.22, 2016.
- 3) 橋本美春, 井上惣介, 福井和也, 湯浅恭史: 地域外の建設企業との連携の取組(なでしこ BC 連携), 土木学会四国支部技術研究発表会講演概要集, vol.23, 2017.

5. 研究

5. 1 学長裁量経費（戦略的大学機能強化事業支援）

①四国防災・危機管理特別プログラムによる危機管理教育の広域展開と南海トラフ地震対策の実践

担当者：中野 晋，湯浅 恭史

研究費：2,792,000 円

②南海トラフ巨大地震に対応する徳島大学 BCP（事業継続計画）の運用と教育・訓練の実施

担当者：中野 晋，湯浅 恭史

研究費：782,000 円

概要：徳島大学と大学病院機能の維持、教職員・学生・病院利用者の安全確保を保てるような基本的な事前対策のため、BCP を策定しており、平成 30 年度は、昨年度の図上訓練で抽出された課題を解決するため、災害対策本部の各班や自衛消防組織での教育・訓練の実施を行う。

③インセンティブ経費

担当者：環境防災研究センター

研究費：900,000 円

5. 2 受託研究

①大規模・高分解能数値シミュレーションの連携とデータ同化による革新的地震・津波減災ビッグデータ解析基盤の創出

代表者：越村 俊一（東北大学）

担当者：馬場 俊孝

依頼者：国立研究開発法人科学技術振興機構

研究費：13,650,000 円

概要：津波発生から浸水までの多数シミュレーション結果の類型化によるシナリオ作成

②企業防災の訓練指導事業の実施とその効果検証

代表者：中野 晋

担当者：湯浅 恭史

依頼者：徳島県商工労働観光部商工政策課

研究費：810,000 円

概要：災害時における企業の事業継続力を強化するため、BCP の策定および見直し改善の支援として、県内企業を対象とした訓練指導を行うとともに、実際に訓練を実施した企業からの聞き取り調査などから、訓練指導の手法について検証を行う。

③一般廃棄物最終処分場廃止に向けた課題解決のための検討

代表者：上月 康則

依頼者：徳島市市民環境部環境施設整備室

研究費：100,100 円

概要：徳島市西須賀最終処分場の廃止に向けた取り組みについて、当該処分場に係る水質調査資料等を学術的な知見から検討を行い、課題解決への助言を行う。

④広域 BCP 体制の構築支援

代表者：中野 晋

担当者：湯浅 恭史

依頼者：徳島県危機管理部危機管理政策課

研究費：600,000 円

概要：南海トラフ巨大地震など大規模広域災害時において、地域機能の維持・継続を図るため、他者との応援受援体制を視野に入れた BCP の策定を支援するとともに、地域関係者が相互に連携した広域 BCP 体制の構築に向けた検討を行う。

⑤あらい浜風公園この浦舟池干潟整備方法に関する研究

代表者：上月 康則

依頼者：兵庫県東播磨県民局

研究費：520,000 円

概要：あらい浜風公園内の「この浦舟池」の環境改善を目的とした干潟整備方法に関する研究

⑥平成 30 年度地域適応コンソーシアム中国四国地域事業

代表者：鎌田 磨人

担当者：武藤 裕則，田村 隆雄

依頼先：株式会社地域計画建築研究所

研究費：4,009,863 円

概要：人工林の林相改善による流出抑制効果の把握、窪地地形内水田の貯水効果の把握、水田を用いた DRR 実装のためのインセンティブの把握・提案を行う。

⑦長洲干潟の環境保全・再生実験「長洲町地先干潟の環境の変遷と現状の評価並びにアミノ酸コンクリート等を用いた干潟の環境再生方法の検討」

代表者：上月 康則

担当者：山中 亮一

依頼者：熊本北部漁業組合

研究費：1,950,000 円

概要：全国的にあさりの資源が激減している中、長洲地先の干潟ではあさを初めとする干潟の豊かな資源が持続的に維持・活用されている。今後も持続的に干潟の資源を増殖・維持・活用するため、これまでの干潟環境の変遷を整理するとともに現状の干潟環境の把握・評価を行い、加えてあさり等資源増殖のための新たな方法を検証するものである。ここでの研究・実験の成果が地元水産資源の増殖並びに持続的利用、ひいては地域の活性化に資することを目的とする。

⑧グリーンインフラと既存インフラの相補的役割－防災・環境・社会経済面からの評価

代表者：中村 太士（北海道大学）

分担代表者：武藤 康則

担当者：鎌田 磨人，山中 亮一，渡辺 公次郎

依頼者：環境省

研究費：8,997,300 円

概要：ハイブリットインフラの工学的評価を基盤にした多面的機能評価、ならびに土地利用への展開

5. 3 共同研究

①簡易地震計を用いた建物安全度判定に関する研究

代表者：中田 成智

共同研究先：株式会社松島組

研究費：1,000,000 円

概要：簡易地震計を設置し、建物の揺れから自己診断するシステムの開発

②広域地形データを用いた内水解析による浸水リスク評価についての基礎的研究

代表者：武藤 裕則

担当者：田村 隆雄

共同研究先：ニタコンサルタント株式会社

研究費：990,000 円

概要：広域地形データは、①基礎地図情報(10mメッシュ)、②基盤地図情報(5mメッシュ)、③NTTDATA(5mメッシュ)の3種類がある。①②は無償であるが、③については有償である。①③は全国整備されているが、②は整備されていない箇所がある。

また、①より②の方の精度が高いことが知られている。そこで本研究は、a) ①を用いた場合、b) ②の整備されている箇所は②を用い、整備されていない箇所は①を用いた場合、c) ③を用いた場合の浸水深分布と浸水実績を比較することにより、広域地形データの違いによる浸水リスク評価の精度への影響について検討する。

なお、本研究は徳島県下の排水施設を考慮した氾濫解析を行い、計算水位と浸水実績を比較し、計算結果の妥当性を検証する。

③尼崎運河と尼崎港での水質浄化の研究

代表者：上月 康則

担当者：山中 亮一

共同研究先：兵庫県阪神南県民センター

研究費：1,498,970 円

概要：①水質の長期変動特性と汚染浄化対策の検討 ②水質の長期化予測 ③環境ガバナンスと社会的便益評価の高度化 ④尼崎運河と尼崎港と環境修復技術・手法の開発および啓発。

④防波堤や築山等の津波被害軽減効果と影響に関する研究開発

代表者：馬場 俊孝

担当者：山中 亮一

共同研究先：株式会社エイト日本技術開発

研究費：1,100,000 円

概要：既存や計画の防波堤・道路盛土・築山公園等による対象地区に侵入した津波の流れについて、地区内の構造物を考慮した津波浸水シミュレーションで評価し、防波堤等施設の配置による効果と影響を把握し、津波被害(特に人的被害)をコントロールするノウハウを得るための研究を行う。

⑤Raspberry Shake を用いた地震時被災度判定システムの開発

代表者：中田 成智

共同研究先：株式会社エイト日本技術開発

研究費：3,300,000 円

概要：地震発生直後の自治体等による初動対応で必要となる防災拠点等の損傷度合いや使用可

否を即時に判定するためのシステム開発を目指す。Raspberry Shake を各拠点に設置するセンサーとして使用し、各拠点の被災度を一元的に管理するためのシステム開発する。

⑥街路沿いのブロック塀の抽出とその損傷、老朽化を迅速に半自動的に判定するシステム構築の研究

代表者：上月 康則

共同研究先：株式会社アスコ大東

研究費：110,000 円

概要：地震時の倒壊等が問題視されているブロック塀は町中に多数点在しているが民有も多く設置場所や状態が管理されておらず、市町村が防災計画等を立案する上での障害となっている。これを調査することは重要であるが、人海戦術で実施することは経済的で不合理で、ITC 技術を活用した迅速且つ効率的な抽出および状態判定を実施することを研究の目的とする。

⑦津波危険区域からの居住移転に関する基礎調査

代表者：中野 晋

分担者：上月 康則，湯浅 恭史

共同研究先：株式会社四門，株式会社一条工務店

研究費：993,300 円

概要：近い将来の発生が予測されている南海トラフ地震による津波被害を軽減、回避するため、徳島県内の津波危険区域の居住者の事前移転を促進するための適切な移転先候補地を検討し、合わせて居住者の移転に関する意向調査を実施する。

5. 4 受託事業

①地域防災力強化人材育成推進事業

代表者：中野 晋

依頼先：徳島県防災人材育成センター

事業費：7,039,000 円

概要：地域防災活動に行政と協働して取り組む「地域防災推進員」の養成を図り、地域防災力の強化につなげるため、徳島大学が開講する体系的な防災講座を一般県民および徳島県職員等を対象に実施する。

②地域防災力強化事業業務

代表者：田村 隆雄

依頼先：徳島市

事業費：1,040,000 円

概要：大規模な災害が発生した場合の被害を最小限に止めるためには、地域の防災力の強化が不可欠である。特に地域に居住する住民の防災意識の向上とその居住する地域の特性を知ることが、地域の防災力強化の近道となる。平成 26 年 3 月に発行した「徳島市地震・津波防災マップ」を市民が保管用として自宅に置くだけのものにしないようフォローアップを実施し、徳島市内の行政 2 地区を対象に地域住民が自ら考え作る自分たちの避難支援マップを作成することにより、地域の特性を再認識し、地域の防災力強化と防災意識の高揚を図ることを目的とする。

③重伝建出羽島・徳島大学連携事業

代表者：小川 宏樹

依頼先：牟岐町教育委員会

研究費：430,000 円

概要：①伝統的家屋の実測調査(平面図・断面図・立面図の作成)，痕跡調査(増改築の履歴調査)
②伝統的家屋における新たな耐震方法の調査 ③修理・修景工事实施した伝統的家屋の所有者の方々へのインタビュー ④出羽島の伝統的な景観を構成する様々な要素についてその分布調査等
⑤島民の方々を対象とした報告会の開催

5. 5 助成金（事業名、代表者、担当者、依頼者、研究費、概要 など）

①科学研究費助成事業（科学研究費補助金）・基盤研究（A）（一般）

研究名：津波災害に対するまちづくりを含めた統合的減災システムの設計・評価と社会実装の検討

代表者：安岡 章夫（東京大学）

分担者：山中 亮一

研究費：455,000 円

②科学研究費助成事業（科学研究費補助金）・基盤研究（B）（一般）

研究名：里浦創出を目指した都市梅の「こわざ」と「ふるさと化」に関する実証研究

代表者：上月 康則

分担者：山中 亮一

研究費：3,900,000 円

③科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）・挑戦的研究（萌芽）

研究名：地域に信頼される中学生関与による南海トラフ巨大地震・津波に対する避難路整備手法

代表者：上月 康則

分担者：山中 亮一，井若 和久，光原 弘幸，内海 千種

研究費：1,690,000 円

④科学研究費助成所事業（学術研究助成基金助成金）・基盤研究（C）

研究名：津波避難困難地域の解消につながる都市内グリーンインフラストラクチャーの創出手法

代表者：山中 亮一

研究費：1,950,000 円

⑤科学研究費助成所事業（学術研究助成基金助成金）・特別研究推進費

研究名：平成 30 年 7 月豪雨による災害の総合研究

代表者：山本 晴彦（山口大学）

分担者：中野 晋

研究費：1,391,000 円

⑥河川基金助成事業（公益財団法人河川財団研究助成金）

研究名：平成 30 年 7 月西日本豪雨災害調査

代表者：前野 詩朗（岡山大学）

分担者：中野 晋

研究費：300,000 円

5. 6 寄付金（代表者、寄附者、研究費 など）

上月 康則，山中 亮一

寄附者：株式会社基礎建設コンサルタント

研究費：500,000 円

上月 康則

寄附者：五洋建設株式会社

研究費：500,000 円

小川 宏樹

寄附者：株式会社もくさん

研究費：100,000 円

5. 7 その他

①管理運営費(教育)

研究費：495,200円

概 要：大学間連携共同教育推進事業にかかる自己収入

6. 研究業績

6. 1 著書（名前，著書題目，著者等名，発行所・発表雑誌等の名称，巻・号・ページ，発行または発表年月 など）

<防災研究部門>

青矢 睦月

- (1) ウォリス サイモン・青矢 睦月，地球科学の事典（編集代表＝鳥海光弘）1.7 大陸衝突，朝倉書店，p. 14-15，2018年4月
- (2) 青矢 睦月，地球科学の事典（編集代表＝鳥海光弘）1.10 岩石の埋没と上昇，朝倉書店，p. 20-21，2018年4月
- (3) 原 英俊・青矢 睦月・野田 篤・田辺 晋・山崎 徹・大野 二・駒澤 正夫，20万分の1地質図幅「高知」（第2版），産総研地質調査総合センター，2018年7月

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) Kamada M. *Satoyama* landscape of Japan -past, present, and future. pp. 87-109. In: Hong S.-K. & Nakagoshi N. eds, *Landscape Ecology for Sustainable Society*, DOI: https://doi.org/10.1007/978-3-319-74328-8_6, Springer, Cham, 2018年4月

西田 貴明

- (1) 西田 貴明・小笠原 奨悟，自然を活用して魅力ある都市・地域に — グリーンインフラの可能性 環境ビジネス 2018年6月11日号
- (2) 西田 貴明，自然災害にどう向き合う？Eco - DRR（生態系を活用した防災・減災）の可能性，環境ビジネス 2018年10月15日号
- (3) 西田 貴明・舛田 陽介・宮川 絵里香，日本のグリーンインフラ・ビジネスの展望 守るべきものから活用へ 環境ビジネス 2018年10月22日号
- (4) 西田 貴明，ブルーカーボン：海を活用した新たなCO₂吸収源の確保，共著，東洋経済新報社・「2019年日本はこうなる」（三菱UFJリサーチ&コンサルティング），p. 260-261，2018年11月

<危機管理研究部門>

中野 晋

- (1) 中野 晋，とくしま学校防災「ゼロ」作戦，「南海トラフ地震臨時情報とは」，徳島教育，No. 1181，32-33，2018年5月
- (2) 中野 晋，とくしま学校防災「ゼロ」作戦，「避難所運営支援と学校再開計画に関するQ&A」，徳島教育，No. 1182，38-39，2018年7月
- (3) 中野 晋，とくしま学校防災「ゼロ」作戦，「「まさか」とならないためにハザードマップを確かめよう」，徳島教育，No. 1184，36-37，2018年11月

6. 2 論文 (名前, 題目, 著者等名, 発行所・発表雑誌等の名称, 巻・号・ページ, 発行または発表年月 など)

<防災研究部門>

蔣 景彩

- (1) An-Jui Li, Zhiguang Qian, Jing-Cai Jiang, and Andrei Lyamin: Seismic Slope Stability Evaluation Considering Rock Mass Disturbance Varying in the Slope, KSCE Journal of Civil Engineering, 23(3), pp. 1043-1054, 2019 年

安間 了

- (1) 常木 晃・渡部 展也・安間 了・辰巳 祐樹・ラワ カリム サリ, 肥沃な三日月地帯東部の新石器化 - イラク・クルディスタン, スレマニ地域チャルモ遺跡の調査 (2018 年). 第 26 回西アジア発掘調査報告集, 2019 年
- (2) 安間 了, 「計画研究 B-1 古代西アジアをめぐる水と土と都市の相生・相克と都市鉱山の起源」研究成果報告. 新学術領域研究「西アジアの都市」年次報告書, 2019 年
- (3) 安間 了・前田 修・常木 晃, イラク国北部 Qalat Said Ahmadan 出土の黒曜石製石器の化学組成と原産地推定. 新学術領域研究「西アジアの都市」年次報告書, 2019 年

西山 賢一

- (1) 西山 賢一, 日本における岩石の風化研究の進展と課題. 地質学雑誌, Vol. 124, pp. 877-888 (査読付), 2018 年
- (2) 川村 教一・西山 賢一, 四国地方の主要臨海平野における上部更新統および完新統の対比: 現状と課題. 地質学雑誌, Vol. 125, pp. 87-105 (査読付), 2019 年
- (3) 西山 賢一・鳥井 真之・横田 修一郎・若月 強・井上 弦・中尾 賢一・星出 和裕・奥野 充, 阿蘇カルデラ壁斜面における斜面崩壊の発生頻度. 第四紀研究 (査読付), 2019 年
- (4) 西山 賢一・撰田 克哉・井口 隆, 朝倉市妙見川流域で発生した地すべり・斜面崩壊の地形・地質的特徴. 日本応用地質学会九州北部豪雨災害調査団報告書, pp. 70-77, 2018 年
- (5) 田近 淳・太田 岳洋・千田 敬二・長谷川 怜思・碓井 敏彦・田村 浩行・西村 智博・松澤 真・西山 賢一・撰田 克哉・戸邊 勇人・池見 洋明・佐伯 佳美・磯部 有作・松尾 達也・小野田 敏・小林 洋・江口 貴弘, 火山岩地域でおきた特徴的な斜面変動 - 日田市小野地すべりを中心に. 日本応用地質学会九州北部豪雨災害調査団報告書, pp. 34-42, 2018 年
- (6) 西山 賢一, 明治熊本地震の被害の実態と災害痕跡. めらんじゅ (宮崎応用地質研究会誌), No. 29, pp. 8-13, 2018 年

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) Kamada M, Hirai S, Imai Y. Habitat evaluation of riverine plant communities based on historical hydrogeomorphic condition. Proceedings of the 12th International Symposium on Ecohydraulics (ISE2018), 4pp, 2018 年 8 月

- (2) Muto Y, Kotani S, Miyoshi M, Kamada M, Tamura T. Retarding capacity change of wetland paddy fields due to house land development- toward wetland use against flood utilizing paddy fields as green infrastructure. Proceedings of the 21th IAHR-APD Congress 2018, Vol.2: 1209-1218, 2018年9月
- (3) 荒木田 葉月・三橋 弘宗・鎌田 磨人. アンケート調査に基づくシギ・チドリ類への影響要因の関連性分析. 保全生態学研究, 23: 199-221, 2018年11月
- (4) 丹羽 英之・竹村 紫苑・今井 洋太・鎌田 磨人. 林床のオルソモザイク画像と DSM の簡便な取得方法: マングローブ林を例に. 応用生態工学, 21: 191-202, 2019年2月
- (5) 鎌田 磨人. グリーンインフラとしての水田と Eco-DRR -生態系サービス間シナジーを活用するための道筋. 農村計画学会誌, 37(4), 2019年3月

上月 康則

- (1) 大谷 壮介, 野元 あい, 上村 了美, 東 和之, 上月 康則, 大阪湾湾奥で再確認されたウミニナの生息環境に関する考察, 海洋開発論文集, 74(2) I_504-I_509, 2018年
- (2) 大谷 壮介, 大田 直友, 東 和之, 上月 康則, 塩性湿地におけるヒロクチカノコの分布特性, 日本ベントス学会誌, 72: 71-78, 2018年
- (3) 上村 了美, 上月 康則, 大谷 壮介, 平川 倫, 岩見 和樹, 竹山 佳奈, 山中 亮一, 環境 DNA メタバーコーディングによる運河・港湾に生息する魚類の種多様性検出に関する研究, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 74 巻 2 号, p. I_474-I_479, 2018年
- (4) 上月 康則, 岩見 和樹, 平川 倫, 齋藤 稔, 竹山 佳奈, 西上 広貴, 田辺 尚暉, 山中 亮一, 貧酸素時における底生魚チチブの水面近傍の空隙利用に関する実験的研究, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 74 巻 2 号, p. I_498-I_503, 2018年
- (5) 渡辺 雅子, 上月 康則, 辻岡 雅啓, 矢野 司, 松島 輝将, 花住 陽一, 岡田 直也, 山中 亮一, UAV を用いた希少生物海浜性昆虫ルイスハンミョウの生息環境モニタリング手法に関する研究, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), 74 巻 2 号, p. I_1024-I_1029, 2018年
- (6) 松重 摩耶, 上月 康則, 山中 亮一, 小学生を対象とした尼崎運河におけるアクティブラーニング型環境学習の試行と深い学びに関する考察, 沿岸域学会誌, Vol. 31, pp. 33-44, 2018年
- (7) 岡田 知也, 三戸 勇吾, 菅野 孝則, 高橋 俊之, 秋山 吉寛, 黒岩 寛, 遠藤 徹, 大谷 壮介, 矢持 進, 上月 康則, 日下部 敬之, 大塚 耕司, 山中 亮一, 重松 孝昌, 中野 和之, 宇城 真, 桑江 朝比呂, 干潟健全度指数を用いた大阪湾の干潟のサービスの定量化 -東京湾と大阪湾の比較による干潟のサービスの特徴の把握, 土木学会論文集 B2(海岸工学), 74 巻 2 号 I_1417-I_1422, 2018年
- (8) 東 和之, 大田 直友, 阿部 暉, 大谷 壮介, 橋本 温, 上月 康則, 絶滅危惧種シオマネキの保全に向けた市民協働によるモニタリングの枠組み作り, 土木学会論文集 G (環境工学), 53(2), 2019年
- (9) 渡辺 雅子, 上月 康則, 矢野 司, 岡田 直也, 山中 亮一, 松島 輝将, 近年の吉野川河口干潟の地形変動とルイスハンミョウ生息地の変化について, 土木学会論文集 B2(海岸工学), 74 巻 2 号 I_1303-I_1308, 2018年

山中 亮一

- (1) 三島 豊秋・川崎 浩司・清水 涼太郎・灘岡 和夫・風呂田 利夫・八木 宏・中川 康之・二瓶 泰雄・山中 亮一：多摩川河口域における干潟底生生物の幼生分散数値シミュレーション, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol. 74, No. 2, I_1309-I_1314, 2018 年
- (2) 渡辺 雅子・上月 康則・辻岡 雅啓・矢野 司・松島 輝将・花住 陽一・岡田 直也・山中 亮一：UAV を用いた希少生物海浜性昆虫ルイスハンミョウの生息環境モニタリング手法に関する研究, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 74, No. 2, I_1024-I_1029, 2018 年

中西 敬

- (1) 大熊 康平, 安田 誠宏, 安富 翔哉, 松下 紘資, 伴登 昭夫, 中西 敬：人工リーフにおける中空立方体ブロックの不規則波に対する安定性実験, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 74, No. 2, pp. I_366-I_371, 2018 年
- (2) Naozumi Yoshizuka, Hiroshi Matsushita, Takashi Nakanishi, Hiroshi Nishimura and Kohei Oguma: Disaster Prevention Facilities and Marine Environment Effect, PIANC-World Congress Panama City, Panama 2018 年

西田 貴明

- (1) 西田 貴明・大澤 剛士・吉田 丈人・宮川 絵里香, ポスト 2020 年の生物多様性政策に向けて、日本生態学会誌, 2019 年
- (2) 西田 貴明, 人口減少時代のグリーンインフラへの期待. 月刊自治研 2018 年 11 月号 vol. 60 no. 710 pp. 35-41, 2018 年
- (3) 西田 貴明, 日本のグリーンインフラの推進状況と今後の展望. 水循環-貯留と浸透 Vol. 109, P3-8, 2018 年
- (4) 相川 高信・西田 貴明, 生態学と政策・制度をつなぐコミュニケーションの実現に向けて：趣旨説明, 日本生態学会誌 68(3) pp. 173-177, 2018 年
- (5) 西田 貴明・橋本 佳延・三橋 弘宗・佐久間 大輔・宮川 五十雄・上原 一彦, 多様な主体の参画と協働を促す交流イベントの生物多様性の主流化への効果-普及啓発イベント「生物多様性協働フォーラム」の実践とその効果の検証 保全生態学研究 23(2) pp. 223-244, 2018 年

<危機管理研究部門>

小川 宏樹

- (1) 上月 康則, 杉本 卓司, 山中 亮一, 丸山 聖人, 小川 宏樹, 河村 勝, 井若 和久, 岡本 隼輔, 津波避難経路の安全性向上のためのブロック塀対策 の取り組みと課題について, 土木学会論文集 B2(海岸工学) 74 巻 2 号 I_421-I_426, 2018 年

中野 晋

- (1) 井上 惣介・中野 晋：2014 年徳島大雪における地元建設企業等の災害対応, 平成 30 年自然災害フォーラム論文集, pp. 25-28, 2018 年 12 月

- (2) 鈴江 和好・中野 晋・蔣 景彩・井上 惣介・根来 慎太郎：九州北部豪雨における建設業の応急対応に関するヒアリング調査，平成 30 年自然災害フォーラム論文集，pp. 29-36，2018 年 12 月．
- (3) 中野 晋・中内 正和・妹尾 淳史・高橋 真理：西日本豪雨における愛媛県内の保育所の被害と災害対応，平成 30 年自然災害フォーラム論文集，pp. 41-50，2018 年 12 月
- (4) 中野 晋，金井 純子，高橋 真理，藤澤 一仁，山城 新吾，前線性集中豪雨における学校の安全管理の課題～2017 年九州北部豪雨の事例分析～，土木学会論文集 F6(安全問題)，2019 年 2 月
- (5) 井上 惣介，中野 晋，根来 慎太郎，大規模災害時の緊急復旧工事における安全管理と労務災害補償，土木学会論文集 F6(安全問題)，2019 年 2 月
- (6) 高橋 真理，中野 晋，金井 純子，山城 新吾，藤澤 一仁，2017 年九州北部豪雨における保育所の危機管理と保育継続の問題，土木学会論文集 F6（安全問題），2019 年 2 月

上月 康則

- (1) 上月 康則，杉本 卓司，山中 亮一，丸山 聖人，小川 宏樹，河村 勝，井若 和久，岡本 隼輔，津波避難経路の安全性向上のためのブロック塀対策 の取り組みと課題について，土木学会論文集 B2(海岸工学) 74 巻 2 号 I_421-I_426，2018 年

山中 亮一

- (1) 上月 康則・杉本 卓司・山中 一・丸山 聖人・小川 宏樹・河村 勝・井若 和久・岡本 隼輔：津波避難経路の安全性向上のためのブロック塀対策の取り組みと課題について，土木学会論文集 B2（海岸工学），Vol. 74, No. 2, I_421-I_426，2018 年

畠 一樹

- (1) 地区防災力の向上に向けた取り組み及び防災ハザード・マップにおける課題抽出，原田 紹臣（三井共同建設コンサルタント(株)）・三上 卓（(株)エイト日本技術開発）・畠 一樹，安全問題討論会' 18 資料集，土木学会，pp. 175-180，2018 年 11 月

金井 純子

- (1) 森下 朔，水口 竜一，金井 純子，馬場 俊孝，要介護者の避難行動速度，自然災害科学，Vol. 37, No. 4, 397-406，2019 年
- (2) 金井 純子，中野 晋，熊本地震における福祉避難所の実態調査，土木学会論文集 F6（安全問題），Vol. 74, No. 2, I_131-I_136，2019 年

宇野 宏司

- (1) 宇野 宏司：四国霊場八十八ヶ所及び遍路みちの自然災害被災リスクの検証，土木学会論文集 B3（海洋開発），第 74 巻，I_755-I_760，2018 年 7 月
- (2) 宇野 宏司：南海トラフ地震に直面する漁港・漁協の津波被災リスク検証～和歌山県を例として～，電気評論，第 655 号（第 103 巻第 7 号），63-68 頁，2018 年 7 月
- (3) 宇野 宏司，柿木 哲哉：大阪湾圏域沿岸における南海トラフ地震による物流機能低下のリスク評

価, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), 第 74 巻, No. 2, pp. I_469-I_474, 2018 年 11 月

- (4) 柿木 哲哉, 辻本 剛三, 石原 莉輝, 細山田 得三, 酒井 大樹, 宇野 宏司: 大阪湾圏域沿岸における南海トラフ地震による物流機能低下のリスク評価, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), 第 74 巻, No. 2, pp. I_37-I_42, 2018 年 11 月

三上 卓

- (1) 地区防災力の向上に向けた取組み及び防災ハザード・マップにおける課題抽出, 原田 紹臣 (三井共同建設コンサルタント(株))・三上 卓 ((株)エイト日本技術開発)・畠 一樹, 安全問題討論会'18 資料集, 土木学会, pp.175-180, 2018 年 11 月
- (2) 高密度地震観測網を用いた即時災害予測システムの吉野川市における実証実験と全体計画, 中田 成智・三上 卓 ((株)エイト日本技術開発), 第 38 回土木学会地震工学研究発表会, B-23-1349, 2018 年 10 月

6. 3 研究発表等 (名前, 発表題目, 著者等名, 発行所・発表雑誌等の名称, 巻・号・ページ, 発行または発表年月 など)

<防災研究部門>

馬場 俊孝

- (1) 馬場 俊孝, 津波伝播コード JAGURS による遠地津波解析 (招待講演), ヘテロジニアスメニューコア WS, 海洋研究開発機構, 2018 年 4 月 18 日
- (2) 権 容大・馬場 俊孝・蔣 景彩, 永正地震津波の解明を目的とした海部灘海底地すべり調査, 平成 30 年度土木学会四国支部第 29 回技術研究発表会, III-3, 2018 年 5 月 19 日
- (3) 前川 壱成・水口 竜一・塚本 彰宏・馬場 俊孝, マルチエージェントシステムを用いた津波避難タワーの導入効果の検証, 平成 30 年度土木学会四国支部第 29 回技術研究発表会, II-3, 2018 年 5 月 19 日
- (4) 木村 健吾・馬場 俊孝, 遠地津波計算におけるブシネスク型分散と数値分散利用モデルの比較, 2018JpGU 連合大会, HDS10-P15, 2018 年 5 月 23 日
- (5) Morishita, H., R. Mizuguchi, T. Baba, Investigation of motion and speed of the frail elderly during evacuation process, AOGS annual meeting in 2018, IG04-D2-PM2-323A-011, 2018 年 6 月
- (6) Baba, T., K. Imai, K. Nakanishi, M. Miyoshi, K. Aki, A Numerical Modeling of Long-Term Flooding After the Tsunami Caused by the Nankai Earthquake, Japan, AOGS annual meeting in 2018, G03-D3-AM1-323A-008, 2018 年 6 月
- (7) 馬場 俊孝, 中電サイエンスフォーラム (御前崎市), 2018 年 7 月 21 日
- (8) 馬場 俊孝・権 容大・松野 哲男・林 美鶴・市原寛徳島県東喰沖海底地すべり痕のマルチナロービーム測深, 第 35 回歴史地震研究会講演予稿集, 0-16, 2018 年 9 月
- (9) Baba, T., Imai, K., Yamashita, K., Matsuno, T., Hayashi, M., and Ichihara, H., Numerical Modeling of Submarine Landslide Tsunami Assuming a Source on the Continental Slope in the

- Nankai Trough, Japan, 10th ACES International Workshop, Awaji Island, 032-1, 2018年9月
- (10) Kimura, K., Baba, T., Comparison Between Boussinesq Type Dispersion and Numerical Dispersion Models in Far-field Tsunami Calculation, 10th ACES International Workshop, Awaji Island, P15, 2018年9月
 - (11) 前川 壱成・水口 竜一・塚本 章宏・馬場 俊孝, 津波避難タワーと道路閉塞を考慮した避難シミュレーション, 第37回日本自然災害学会学術講演会, III-4-2, 2018年10月
 - (12) 馬場 俊孝・近貞 直孝・中村 泰之・藤江 剛・尾鼻 浩一郎・三浦 誠一・小平 秀一, アウターライズ地震津波のデータベース構築に向けた津波計算モデルの感度解析, 日本地震学会2018年度秋季大会, S16-P08, 2018年10月
 - (13) 馬場 俊孝, JAGURSの開発とそれを用いた近地津波, 遠地津波, 地すべり津波の解析, 防災科学技術研究所, NIEDセミナー, 2018年11月29日
 - (14) 馬場 俊孝・今井 健太郎・山下 啓・松野 哲男, 徳島県宍喰沖の海底地すべりを波源とした津波計算, 第8回巨大津波災害に関する合同研究集会, 2018年12月22日

安間 了

- (1) 安間 了・申基 徹・横尾 頼子・中野 孝教・黒澤 正紀, メソポタミア氾濫源堆積物と粘土板の化学組成・同位体組成にみる都市鉱山のあけぼの. 地球惑星科学関連学会合同大会, HTT18-13, 幕張メッセ, 千葉, 2018年5月22日(20-24)
- (2) 安間 了, 古代西アジアをめぐる水と土と都市の相生・相克と都市鉱山の起源. 新学術領域研究キックオフ・ミーティング, 筑波大学東京キャンパス, 文京区, 2018年7月29日
- (3) 安間 了, pXRF(携帯型蛍光X線分析計)によるアッシリア浮彫石材の非破壊分析. 渡辺科研研究会, 大阪学院大学, 吹田市, 2018年12月1日
- (4) 安間 了, メソポタミア氾濫源堆積物・粘土製品にみる都市鉱山のあけぼの. 日本地質学会四国支部総会, 徳島大学常三島キャンパス, 徳島, 2018年12月15日
- (5) 安間 了, 計画研究4:「古代西アジアをめぐる水と土と都市の相生・相克と都市鉱山の起源」2018年度活動報告. 新学術領域研究・領域全体研究会, 筑波大学東京キャンパス, 文京区, 2019年2月23日
- (6) 安間 了, 水路堆積物および粘土板胎土にみるメソポタミアの都市鉱山化. 文化地質研究会, 大谷大学, 京都, 2019年3月3日

西山 賢一

- (1) 西山賢一, 日本応用地質学会災害調査団四国班, 四国地区で発生した土砂災害. 日本応用地質学会平成30年度研究発表会(ディスカッションセッション), 2018年10月
- (2) 西山 賢一, 日本応用地質学会災害調査団四国班, 四国地区で発生した土砂災害. 日本応用地質学会平成30年度研究発表会講演論文集, 2018年10月
- (3) 西山 賢一, 日本応用地質学会災害調査団四国班, 四国地区で発生した土砂災害. 日本応用地質学会中国四国支部災害速報会, 平成30年7月豪雨災害調査速報会・日本応用地質学会中国四国支部設立25周年記念行事記念シンポジウム講演資料集, 1-12~1-15, 2018年11月
- (4) 西山 賢一, 日本応用地質学会災害調査団四国班, 平成30年7月豪雨により愛媛県宇和島市で発生

した土砂災害. 防災科学技術研究所 2018 年度土砂災害に関する研究集会発表概要集, pp. 22-23, 2018 年 11 月

- (5) 西山 賢一, 福岡県朝倉・大分県日田地域における地すべり・土石流の発生頻度. 日本応用地質学会平成 30 年度研究発表会講演論文集, pp. 91-92, 2018 年
- (6) 西山 賢一・鳥井 真之・横田 修一郎・奥野 充, 阿蘇火山周辺における斜面崩壊・土石流の発生頻度. 土木学会土砂災害に関するシンポジウム, pp. 157-160, 2018 年
- (7) 西山 賢一・後 誠介, 和歌山県大雲取山地に分布する崩壊堆積物の地形・地質的特徴. 日本地質学会第 125 年学術大会講演要旨集, pp. 148, 2018 年
- (8) 西山 賢一・川村 教一, 徳島平野における電子地盤図の作成. 日本地質学会四国支部講演会資料, 2018 年
- (9) 西山 賢一・鳥井 真之・横田 修一郎・奥野 充・田近 淳, 阿蘇カルデラ・高野尾羽根火山北斜面における地すべり移動体の内部構造. 日本地すべり学会第 57 回研究発表会 (CD-ROM), 2018 年
- (10) 鳥井 真之・北園 芳人・長谷中 利昭・奥野 充・遠田 晋次・西山 賢一・横田 修一郎, 南阿蘇村河陽地区における 2016 年熊本地震とテフラ層との関係. 国際火山噴火史情報研究集会講演要旨集 2017-2, pp. 107-109, 2018 年
- (11) 撰田 克哉・西山 賢一・井口 隆, 朝倉市妙見川流域で発生した初生岩盤地すべりの地質的特徴. 日本応用地質学会平成 30 年度研究発表会講演論文集, pp. 143-144, 2018 年
- (12) 西山 賢一, 三好市の地質と地形: その生い立ちと特質. 阿波学会総合学術調査 (三好市) 最終成果発表会, 三好市, 2019 年 3 月
- (13) 西山 賢一, 阿蘇の自然と歴史から斜面災害について考える. 第 1 回阿蘇サイエンスカフェ話題提供, 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター, 2019 年 3 月

青矢 睦月

- (1) 西村 弘季・青矢 睦月, 眉山地域三波川帯における変形構造方位と主変形の剪断センス, 第 18 回日本地質学会四国支部講演会, 2018 年 12 月 15 日
- (2) 長谷川 就人・青矢 睦月, 泥質片岩を用いた眉山地域三波川帯の変成分帯とユニット区分, 第 18 回日本地質学会四国支部講演会, 2018 年 12 月 15 日
- (3) 西江 苑香・青矢 睦月, 眉山地域三波川帯の変塩基性岩におけるガーネット仮像の認識, 第 18 回日本地質学会四国支部講演会, 2018 年 12 月 15 日

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) Kamada M. *Satoyama* landscape of Japan -past, present, and future. The 8th EAFES (Nagoya, Japan), 2018 年 4 月 21 日
- (2) 朝波 史香・泊 健一・鎌田 磨人. 生物多様性の主流化に向けた証券業界との連携の道筋. 第 61 回日本生態学会中国・四国地区大会 (山口市), 2018 年 5 月 13 日
- (3) Kamada M, Hirai S, Imai Y. Habitat evaluation of riverine plant communities based on historical hydrogeomorphic condition. 12th International Symposium on Ecohydraulics

(ISE2018, Tokyo), 2018年8月23日

- (4) Muto Y, Kotani S, Miyoshi M, Kamada M, Tamura T. Retarding capacity change of wetland paddy fields due to house land development- toward wetland use against flood utilizing paddy fields as green infrastructure. The International Association for Hydro-Environment Engineering and Research (IAHR-APD2018, Yogyakarta, Indonesia), 2018年9月5日
- (5) Kamada A, Iba T, Ichinose T, Kamada M. A Pattern Language for Initiating Biodiversity Activities: An Examination from the activities at Kitahiroshima, Japan. Urban Biodiversity and Design (URBIO2018, Cape Town, South Africa), 2018年9月13日
- (6) 名田 雄一・佐々木 剛・渡辺 雅子・鎌田 磨人. 徳島県・伊島におけるササユリの生育環境の解明と再生適地の提案. 第28回日本景観生態学会大会(宮崎市), 2018年9月18日
- (7) 朝波 史香・泊 健一・鎌田 磨人. グリーンインフラの社会実装に向けた証券業界との連携の道筋. 第28回日本景観生態学会大会(宮崎市), 2018年9月18日
- (8) 今井 洋太・田中 遥樹・鎌田 磨人. 洪水浸水想定区域図と土地利用細分メッシュ図を用いた暴露リスク増加量の把握. 第28回日本景観生態学会大会(宮崎市), 2018年9月18日
- (9) Kamada M, Muto Y (2018.11.27) A trial project for installing Eco-DRR to the society in Japan. ICLEE2018 (Taichung, Taiwan), 2018年11月27日

上月 康則

- (1) 松重 摩耶, 上月 康則, 山中 亮一, 小学生を対象とした尼崎運河におけるAL型環境学習の試行と深い学びに関する研究, 6-2, 日本沿岸域学会, 横浜, 2018年6月12日
- (2) 松重 摩耶, 上月 康則, 山中 亮一, 環境を考えるきっかけになる駆動質問に関する一考察, P42, 東京学芸大学, 2018年8月24日
- (3) 上月 康則, 山中 亮一, 中岡 禎雄, 松重 摩耶: ひょうごの海への恩返し~臨海工業地帯での里海づくり~Vol.2, 第三回ひょうご環境担い手サミット, 神戸, 2018年12月22日
- (4) 松重 摩耶, 上月 康則, 山中 亮一: 「コモングの悲劇」と「マグロの資源管理」を学習するゲームの開発, 大学教育 カンファレンス in 徳島, 徳島, 2018年12月26日
- (5) Naoki Tabata, Sosuke Otani, Rin Hirakawa, Junya Miyoshi, Naotaka Yoshimura, Takayuki Kusakabe, Yasunori Kozuki: Spatial distribution of phosphorus in sediments at Inner Part of Osaka Bay and Yodo river estuarine, Japan, 12th International Conference on the Environmental Management of Enclosed Coastal Seas (EMECS12), Pattaya, Thailand, November 4 - 8, 2018年
- (6) Yasunori Kozuki, Rin Hirakawa, Junya Miyoshi, Sosuke Otani, Naotaka Yoshimura, Takayuki Kusakabe, Ryoichi Yamanaka: Study on sessile organism and water quality in the inner part of Osaka Bay for 20 years, EMECS12, Pattaya, Thailand, November 4 - 8, 2018年
- (7) Toru Endo, Kentaro Hirano, Sosuke Otani, Ryoichi Yanagawa and Yasunori Kozuki: Estimation on spatial distribution and ecosystem network of ayu *Plecoglossus altivelis altivelis* in the inner part of Osaka Bay, EMECS12, Pattaya, Thailand, November 4 - 8, 2018年
- (8) Yasunori Kozuki and Ryoichi Yamanaka: Development of "Bluefin tuna game" to learn resource

management and social dilemmas Maya Matsushige, EMECS12, Pattaya, Thailand, November 4 - 8, 2018 年

山中 亮一

- (1) 山中 亮一：海辺の環境再生活動の社会的価値算定に関する研究～尼崎運河を事例として～，大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度（平成 29 年度実施）成果発表会，ラッセホールリー（神戸市），2018 年 5 月 10 日
- (2) 野口 勝稀，上月 康則，牧本 佳樹，松重 摩耶，前田 清子，岩雲 貴俊，前田 真里，山中 亮一：干出時間の長い人工干潟でのヤマトオサガニの行動特性に関する現地調査，平成 30 年度土木学会四国支部技術研究会発表講演概要集，jsce7-107-2018，徳島大学，2018 年 5 月 19 日
- (3) 藤田 達也，山中 亮一，井内 浩明，高田 恵二，酒井 孟：水中 360 度パノラマ動画サイト「AWA-VR」を用いた VR 体験の環境意識に及ぼす効果について，平成 30 年度土木学会四国支部技術研究会発表講演概要集，jsce7-138-2018，徳島大学，2018 年 5 月 19 日
- (4) 山中 亮一，上月 康則，上田 敦史，鶴江 智彦，藍澤 夏美，戸田 涼介，森 紗綾香：尼崎運河における水質の長期的変動特性について，平成 30 年度土木学会四国支部技術研究会発表講演概要集，jsce7-092-2018，徳島大学，2018 年 5 月 19 日
- (5) 田辺 尚暉，上月 康則，平川 倫，松重 摩耶，西上 広貴，岩見 和樹，山中 亮一：尼崎運河に生息する 2 尾のチチブによる空隙利用に関する水槽実験，平成 30 年度土木学会四国支部技術研究会発表講演概要集，jsce7-115-2018，徳島大学，2018 年 5 月 19 日
- (6) 森 紗綾香，山中 亮一，上月 康則，大津 政昭，田尻 和行：尼崎運河での環境再生を題材とした小学生向け学習プログラムの実施とその学習効果．平成 30 年度土木学会四国支部技術研究会発表講演概要集，jsce7-112-2018，徳島大学，2018 年 5 月 19 日
- (7) 山中 亮一，上月 康則，藍澤 夏美，松重 摩耶，中岡 禎雄，大津 政昭，鶴江 智彦，瀧口 裕己，上田 敦史：尼崎運河人工干潟での「干潟づくり活動」による環境・社会的効果について．平成 30 年度土木学会四国支部技術研究会発表講演概要集，jsce7-168-2018，徳島大学，2018 年 5 月 19 日
- (8) 山中 亮一，藍澤 夏美，鶴江 智彦，上田 敦史，中岡 禎雄，上月 康則，宮内 尚輝，瀧口 裕己，森 紗綾香，大津 政昭：尼崎運河人工干潟におけるヨシ群落の生態系機能とその管理方針について．平成 30 年度土木学会四国支部技術研究会発表講演概要集，jsce7-110-2018，徳島大学，2018 年 5 月 19 日
- (9) 林 友海，渡辺 雅子，上月 康則，花住 陽一，岡田 直也，山中 亮一，辻岡 雅啓，矢野 司：沖洲人工海浜における希少種ルイスハンミョウ生息地の地形の経年変化．平成 30 年度土木学会四国支部技術研究会発表講演概要集，jsce7-134-2018，徳島大学，2018 年 5 月 19 日
- (10) 矢野 司，上月 康則，渡辺 雅子，辻岡 雅啓，林 友海，松島 輝将，岡田 直也，山中 亮一：近年の吉野川河口干潟の地形とルイスハンミョウ生息地の変動について．平成 30 年度土木学会四国支部技術研究会発表講演概要集，jsce7-159-2018，徳島大学，2018 年 5 月 19 日
- (11) 山中 亮一：海辺の環境再生活動の社会的価値算定の試み～尼崎運河での環境活動を事例として～，総合誌「瀬戸内海」76 号，pp. 57-59，2018 年
- (12) 山中 亮一：徳島県沿岸域のバーチャル自然体験による視聴者への効果，社会産業理工学研究交流

会 2018, 2018 年 9 月 28 日

- (13) Yasunori Kozuki, Rin Hirakawa, Junya Miyoshi, Sosuke Otani, Naotaka Yoshimura, Takayuki Kusakabe and Ryoichi Yamanaka: Study on sessile organism and water quality in the inner part of Osaka Bay for 20 years, EMECS12 conference poster session, Pattaya, Thailand, 4-8 November 2018 年
- (14) Maya Matsushige, Yasunori Kozuki and Ryoichi Yamanaka: Development of “Bluefin tuna game” to learn resource management and social dilemmas, EMECS12 conference poster session, Pattaya, Thailand, 4-8 November 2018 年

渡辺 公次郎

- (1) 渡辺 公次郎, 徳田 進, 上田 崇史: 徳島都市圏における土地の雨水浸透機能を考慮した土地利用に関する研究, 都市計画研究講演集, Vol.16, pp.35-38, 2018 年 4 月
- (2) 渡辺 公次郎, 山中 英生, 奥嶋 政嗣: 徳島都市圏における総合的な災害リスク評価に関する研究, 土木計画学研究・講演集, Vol.57, pp.36-07, 2018 年 6 月
- (3) Kojiro WATANABE, Flood Disaster Risk Evaluation for Land Use Planning in Tokushima Urban Area, Japan, International Conference on Earth Observations and Social Impacts & The 3rd IAG’i Symposium, OS-A-1-2, Hsinchu, 2018 年 7 月
- (4) 渡辺 公次郎: 土地が持つ雨水貯留・浸透機能に着目した洪水災害リスク評価, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-1, pp.907-908, 2018 年 9 月
- (5) 渡辺 公次郎, 石田 和之: 徳島県における農地の変化と災害リスクへの影響に関する研究, 資産評価政策学会 2018 年度研究大会発表論文集, pp.38-43, 2018 年 11 月
- (6) 渡辺 公次郎: 徳島県における防災の観点からみた農地の変化に関する研究, 第 12 回四国 GIS シンポジウム, 2019 年 3 月

中西 敬

- (1) 中西 敬, 比嘉 義光 ほか: 折れたサンゴを助けよう〜クローン増殖によるサンゴの再生〜, 国際サンゴ礁年 2018 さんごゆんたく館ミーティング (口頭・ポスター発表), 2018 年 11 月
- (2) 岡本 玄洋, 安田 誠宏, 松下 紘資, 中西 敬: 海岸人工構造物におけるサンゴの生育状況調査報告, 一般社団法人沖縄県測量建設コンサルタント協会・沖縄県技術士会研究発表会, 2018 年 11 月
- (3) 中西 敬, 林 浩一郎, 西村 博一, 佐藤 一道, 阿部 諭, 本間 伸栄, 佐藤 司: 酒田港大浜海岸における生物多様性創出実験〜多様な主体の協働による港湾の環境創出と利活用, 第 24 回庄内・社会基盤技術フォーラム, pp.64-69, 2019 年 1 月

小串 重治

- (1) 小串 重治, 石井 正人, 朝波 史香, 井本 郁子, 末次 優花, 「自然の仕組みを活かした先人」に思いを馳せる〜長良川・郡上八幡・虎渓山の視察を通じて〜, 景観生態学, v o l 22(2), 61-65, 2018 年 11 月
- (2) Shion Takemura, Shigeharu Kogushi, Mark Wells and Mitsutaku Makino, ThePICES-MAFF-sponsored

Project on “Building capacity for coastal monitoring by local small-scale fishers” (FishGIS) Mobilephone-based monitoring technology and training workshop, Pices Press (Newsletter of the North Pacific Marine Science Organization), vol 27(1), 16-18、2019年1月

- (3) 竹村 紫苑, 牧野 光琢, 小串 重治, インドネシア漁民との協働による沿岸域モニタリングシステムの開発, 日本生態学会第66回全国大会 ポスター発表、2019年3月

<危機管理研究部門>

中野 晋

- (1) 高橋 真里, 藤澤 一仁, 中野 晋, 金井 純子, 山城 新吾 : 2017年九州北部豪雨における朝倉市内の保育所の緊急対応, 日本保育学会発表要旨集第71回大会, 2018年5月
- (2) 中野 晋, 鳥庭 康代 : 2015年常総水害時での保育所の避難行動分析, 日本保育学会発表要旨集第71回大会, 2018年5月
- (3) 中野 晋, 金井 純子, 2017年九州北部豪雨時の朝倉市内の公立学校での災害対応, 平成30年度土木学会学術講演会, 2018年8月
- (4) 蔣 景彩, 中野 晋, 2016年熊本地震による益城町秋津川沿いの地盤と住宅被害について, 平成30年度土木学会学術講演会, 2018年8月
- (5) 妹尾 敦史, 中野 晋, 湯浅 恭史, 蔣 景彩, スタジアム防災の取り組み—Jリーグ観戦者を対象とした地震・津波防災意識調査, 平成30年度土木学会学術講演会, 2018年8月
- (6) 中野 晋, 放課後児童クラブの防災対策に関する実態調査, 日本安全教育学会第19回横浜大会, 2018年9月.
- (7) 山城新吾, 末澤弘太, 中野 晋, 体験型避難シミュレーションゲームの展開と改善, 日本安全教育学会第19回横浜大会, 2018年9月.
- (8) 中野 晋, 金井 純子, 高橋 真理, 藤澤 一仁, 山城 新吾, 前線性集中豪雨における学校の安全管理の課題~2017年九州北部豪雨の事例分析~, 土木学会安全問題討論会’18, 2018年11月28日.
- (9) 井上 惣介, 中野 晋, 根来 慎太郎, 大規模災害時の緊急復旧工事における安全管理と労務災害補償, 土木学会安全問題討論会’18, 2018年11月28日
- (10) 高橋 真理, 中野 晋, 金井 純子, 山城 新吾, 藤澤 一仁, 2017年九州北部豪雨における保育所の危機管理と保育継続の問題, 土木学会安全問題討論会’18, 2018年11月28日

上月 康則

- (1) 上月 康則, 藤川 瑞生, 松重 摩耶, 山中 亮一: ブロック塀の安全点検をテーマにした防災学習とその効果について, 平成30年自然災害フォーラム&第13回南海地震四国地域学術シンポジウム, 高松, 2018年12月17日
- (2) 上月 康則, 杉本 卓司, 山中 亮一, 丸山 聖人, 小川 宏樹, 河村 勝, 井若 和久, 岡本 隼輔, 津田中学生との地域のコンクリートブロック塀の安全点検活動について, 安全教育学会, 國學院大學, 2018年9月8日
- (3) 上月 康則, 藤川 瑞生, 松重 摩耶, 山中 亮一, コンクリートブロック塀の安全点検と対策に関する課題について, 2018年度地区防災計画学会, 大阪市立大学, 2019年3月2日

山中 亮一

- (1) 山崎 隆成, 上月 康則, 丸山 聖人, 杉本 卓司, 山中 亮一, 藤川 瑞生, 井若 和久, 細野 滉太 : 小松島和田島地区の避難経路確保に関するブロック塀調査, 平成 30 年度土木学会四国支部技術研究会発表講演概要集, jsce7-161-2018, 徳島大学, 2018 年 5 月 19 日

湯浅 恭史

- (1) 湯浅 恭史, 中野 晋, 粕淵 義郎, 土木学会四国支部技術研究発表会, 大学キャンパスにおける災害対応初動訓練の取り組みと今後の課題, 2018 年 5 月
- (2) 湯浅 恭史, 中野 晋, 日本災害医学会学術集会, 浸水被害事例から考える医療機関の BCP, 2019 年 3 月

金井 純子

- (1) 金井 純子, 中野 晋, 2017 年九州北部豪雨における日田市内の保育所の災害対応, 日本保育学会第 71 回大会要旨集, 2018 年 5 月
- (2) 金井 純子, 熊本地震における福祉避難所の実態調査, 土木学会安全問題討論会 '18, 2018 年 11 月 28 日
- (3) 金井 純子, 要配慮者利用施設における洪水時の避難行動の課題, 平成 30 年自然災害フォーラム&第 13 回南海地震四国地域学術シンポジウム, 2018 年 12 月 17 日
- (4) 金井 純子, 平成 30 年 7 月豪雨における高齢者施設での避難行動分析, 2018 年度 ダイバーシティ推進研究交流発表会及び情報交換会, 2019 年 2 月 16 日
- (5) 金井 純子, 社会福祉施設の災害対応, 西日本豪雨水害四国地区調査団報告会, 2019 年 3 月 2 日

宇野 宏司

- (1) 宇野 宏司, 西脇 郁弥 : 兵庫県の発電施設における自然災害被災リスクの定量評価, 地域安全学会梗概集, No. 42, 15-16 頁, 2018 年 5 月 22 日
- (2) 宇野 宏司 : 大阪湾圏域における南海トラフ巨大地震の津波被災リスク, 土木学会関西支部共同研究グループワークショップ「関西の多様な海岸線における防災および水域環境に関する課題抽出とリスク評価」, 2018 年 6 月 16 日
- (3) 荻野 泰志, 宇野 宏司, 柿木 哲哉 : ニュータウン内に設けられた池の台風時の流入流出特性, 平成 30 年度土木学会関西支部年次学術講演会, II-33 (CD-ROM), 神戸, 2018 年 6 月 16 日
- (4) 黒田 るな, 宇野 宏司, 柿木 哲哉 : 「打ち水」効果の実験的検証, 平成 30 年度土木学会関西支部年次学術講演会, VII-11 (CD-ROM), 神戸, 2018 年 6 月 16 日
- (5) Kohji Uno, Gozo Tsujimoto and Tetsuya Kakinoki : An Analysis of Sediment Transport Using Sand Color Index between Beaches and Rivers at Toban Coast in Japan, Proceedings of 2018 ICCE Congress, in printing, Baltimore, USA, Aug., 2018 年
- (6) 宇野 宏司, 柿木 哲哉 : 南海トラフ巨大地震発生時における大阪湾圏域沿岸主要道の物流機能低下リスクに関する評価, 土木学会第 73 回年次学術講演会講演概要集 (CD-ROM), 1027-1028 頁, 2018 年 8 月 31 日

- (7) 宇野 宏司, 木元 峻: 神戸市における名木・古木の空間的特徴と自然災害被災リスクの検証, 第 37 回日本自然災害学会学術講演会講演概要集, 113-114 頁, 2018 年 10 月 7 日
- (8) 宇野 宏司, 山本 悠太郎: 近畿地方のアメダス観測地点における土砂災害被災リスクの空間的特徴, 日本災害情報学会第 20 回研究発表大会予稿集, 196-197 頁, 2018 年 10 月 27 日
- (9) 宇野 宏司, 鳥居 宜之: 神戸高専都市工学科における防災減災教育についての取り組み, 日本高専学会誌, 23 巻, 4 号, pp. 7-10, 2018 年

6. 4 受賞・表彰 (名前、授与機関名、受賞年月日 など)

1) 平成 29 年度神戸高専教育表彰

鳥居 宜之・谷口 博・宇野 宏司・中村 佳敬, 特別活動における防災教育, 2018 年 4 月 1 日

2) 土木学会四国支部地域貢献賞

中野 晋, 「徳島の環境防災まちづくり」の制作・放映, 2018 年 5 月 18 日

3) 公益社団法人 平成 29 年度土木学会環境賞

上月 康則, 山中 亮一, 中西 敬, 土木学会: “防災”と一体となった“環境配慮”を実現する「アミノ酸混和コンクリート」の開発と実用化, 2018 年 6 月 8 日

4) 第 28 回日本景観生態学会大会 ポスター発表賞

名田 雄一・佐々木 剛・渡辺 雅子・鎌田 磨人, 日本景観生態学会, 徳島県・伊島におけるササユリの生育環境の解明と再生適地の提案, 2018 年 9 月 18 日

5) 平成 30 年度徳島県技術科学大賞 (科学技術理解増進部門)

中野 晋, 徳島県, 2018 年 10 月 30 日

6) 平成 30 年度康楽賞贈与式

山中 亮一, 公益社団法人康楽会, 2019 年 2 月 5 日

6. 5 その他

蔣 景彩・中野 晋

- (1) 広島県の土砂災害など, 平成 30 年 7 月西日本豪雨災害調査団報告書 (河川基金).

三輪 昌史

- (1) 三輪 昌史, Japan innovation challenge 2018 参加, 2018.10

上月 康則

- (1) 四国防災 88 話, NHK 徳島, 四国おひるのクローバー, 2018 年 4 月 13 日・20 日・27 日, 5 月 4 日・11 日・18 日・25 日, 6 月 1 日・8 日, 11:35~11:40
- (2) 危険ブロック塀調査から始まる防災活動, NHK ラジオ第一, 社会の見方・私の視点 を聴く, 2018 年 8 月 31 日, 6:40~6:48
- (3) 地震の備えブロック塀の調査, NHK 徳島, 徳島のニュース, 2018 年 6 月 8 日, 18:15~18:20
- (4) 大阪北部地震でのブロック塀被害について, フォーカスとくしま, 四国放送, 2018 年 6 月 22 日, 18:30~18:35

山中 亮一

- (1) 須磨海浜水族園への尼崎運河のすだれ贈呈と活動紹介,
<http://www.city.kobe.lg.jp/information/press/2018/09/20180927142001.html>
- (2) 須磨海浜水族園のペンギンへの尼崎運河のすだれ贈呈,
<http://www.city.kobe.lg.jp/information/press/2019/01/20190131142002.html>

光原 弘幸

- (1) 招待講演, ” How Should We Teach How to Survive Disasters?—Using ICT for Disaster Education—”, SEMIRATA International Conference on Educational Sciences and Teacher Profession (SEMIRATA ICETeP-2018), 10 月 27 日, Bengkulu, Indonesia
- (2) 2nd International Workshop on Information and Communication Technology for Disaster and Safety Education (ICTDSE2018), 開催 (オーガナイザとして), 11 月 26 日, Manila, Philippines

Ⅲ 徳島大学環境防災研究センター規則

平成16年2月20日

規則第1821号制定

(設置)

第1条 徳島大学(以下「本学」という。)に、徳島大学環境防災研究センター(以下「センター」という。)を置く。

(目的)

第2条 センターは、本学において地域の防災と自然環境保全に関する研究を推進するとともに、地域に密着した活動を通して地域貢献の責務を果たすことを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 地域防災に関する研究と地域支援
- (2) 地域の自然環境保全に関する研究と地域支援
- (3) 安全・安心な地域社会の形成に関する研究と地域支援
- (4) その他、地域の防災と自然環境保全に関する研究教育に必要な事項

(組織)

第4条 前条の目的を達成するため、センターに次の部門を置く。

- (1) 防災研究部門
- (2) 災害医療研究部門
- (3) 環境研究部門
- (4) 危機管理研究部門

(職員)

第5条 センターに次の職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) 部門長
- (4) 専任教員(特任教員を含む。以下同じ。)
- (5) 部門スタッフ
- (6) その他必要な職員

(センター長及び副センター長)

第6条 センター長は、センターの専任教授のうちから第7条に規定する運営委員会の意見を聴いて、学長が命ずる。

2 センター長は、センターの業務を掌理する。

3 副センター長は、センターの専任教授又は准教授のうちから第7条に規定する運営委員会の意見を聴いて、学長が命ずる。

4 副センター長は、センター長の職務を補佐する。

5 センター長及び副センター長の任期は、2年とする。ただし、センター長及び副センター長が任期の途中で欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

6 センター長及び副センター長は、再任されることができる。

(部門長及び部門スタッフ)

第6条の2 部門長は、第7条に規定する運営委員会の意見を聴いて、センター長が命じ、又は委嘱する。

2 部門スタッフは、部門長の推薦に基づき、センター長が命じ、又は委嘱する。

3 部門長の任期は、2年とする。ただし、部門長が任期の途中で欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 部門長は、再任されることができる。

(専任教員)

第6条の3 専任教員は、センターの運営を補助し、所属する部門の業務を処理する。

(運営委員会)

第7条 センターに、業務の計画と実施に関して必要な事項を審議するため、環境防災研究センター運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置く。

第8条 運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) センターの管理運営の基本方針に関する事項
- (2) センターの事業計画に関する事項
- (3) センターの予算・決算に関する事項
- (4) センターに係る人事に関する事項
- (5) センターの自己点検・評価に関する事項
- (6) その他センターの管理運営と業務に関する必要な事項

第9条 運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) 部門長
- (4) 専任教員
- (5) その他運営委員会が必要と認めた者

2 前項第5号の委員は、学長が命じる。

第9条の2 前条第1項第5号の委員の任期は、2年とする。ただし、当該委員が任期の途中で欠員

となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前項の委員は、再任されることができる。

第10条 運営委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

2 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、副センター長が、その職務を代理する。

第11条 運営委員会は、委員の過半数の出席により成立する。

2 議事は、出席した委員の過半数の賛成をもって決し、賛否同数のときは、議長の決するところによる。

3 運営委員会が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(部門長連絡会議)

第12条 センター業務の企画と実施に必要な情報交換と相互連絡を密にするとともに、運営委員会の委嘱により、自己点検・評価を実施するため、部門長連絡会議（以下「連絡会議」という。）を開催する。

2 連絡会議は、センター長が招集する。

3 連絡会議には部門長のほかセンター長及び副センター長が出席する。

(専門委員会)

第13条 運営委員会に専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会の所掌事項、組織及び運営に関し必要な事項は、運営委員会が定める。

(事務)

第14条 センターに関する事務は、研究・社会連携部産学連携・研究推進課において処理する。

(雑則)

第15条 この規則に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

2 この規則施行後最初に任命されるセンター長、副センター長及び部門主任は、第6条第3項の規定にかかわらず、学長が選出し、命ずるものとし、その任期は、同条第5項の規定にかかわらず、平成17年3月31日までとする。

3 この規則施行後、最初に任命される第9条第1項第3号の委員の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成17年3月31日までとする。

附 則 (平成18年3月31日規則第123号改正)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成18年5月16日規則第3号改正）

- 1 この規則は、平成18年5月16日から施行し、この規則による改正後の徳島大学環境防災研究センター規則の規定は、平成18年4月1日から適用する。
- 2 この規則施行後、最初に任命される総務担当の副センター長の任期は、第6条第5項の規定にかかわらず、平成19年3月31日までとする。

附 則（平成18年8月9日規則第19号改正）

この規則は、平成18年8月9日から施行する。

附 則（平成19年2月16日規則第42号改正）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月16日規則第73号改正）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成21年3月24日規則第101号改正）

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成22年2月26日規則第25号改正）

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成25年3月19日規則第89号改正）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 徳島大学環境防災研究センター研究生規則（平成18年度規則第20号）は、廃止する。

附 則（平成26年9月19日規則第11号改正）

- 1 この規則は、平成26年10月1日から施行する。
- 2 この規則施行後、最初に任命される室長の任期は、第6条の3第3項の規定にかかわらず、平成27年3月31日までとする。

附 則（平成27年3月17日規則第40号改正）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月24日規則第98号改正）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成29年3月21日規則第48号改正）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月8日規則第64号改正）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

連絡先

〒770-8506 徳島県徳島市南常三島2丁目1番地
徳島大学環境防災研究センター
Tel : 088-656-8965 Fax : 088-656-8017
E-mail:office@rcmode.net